PocketJet

取扱説明書

PJ-673

モバイルプリンター

- ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも、大切に保管し、いつでも見ることができるようにしてください。

Version 0
JPN

はじめに

このたびは、モバイルプリンター　PocketJet PJ-673（以下「本機」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機は、iPhone、iPad など（以下「iOS デバイス」）や Windows® PC と接続し、印刷できる、感熱式のモバイルプリンターです。ご使用になる前に、必ず、「取扱説明書」（本書）、「安全にお使いいただくために」、をお読みください。本書はお読みになったあとも、いつでも手にとって見られるようにしてください。

iOS デバイスから印刷する場合は、弊社が提供する商品やサービスとは別に、ソフトウェア開発企業の作成した印刷ソフトウェアが必要です（弊社からは Software Development Kit （以下「SDK」）を提供しています）。iOS デバイス向けの印刷ソフトウェアは、開発企業にご相談ください。

本書で使用されている記号

本書にある以下の記号は、重要度によって追加情報を表示するために使用します。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷あるいは傷害を負う危険の可能性があることを示しています。

この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。
もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。

この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使っていただくための情報や手順を表しています。

本書について

本書はウェブサイトまたは付属の CD-ROM で提供されています。

最新のものは、弊社ソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/) からダウンロードしてください。

本書を Adobe® Reader® を使ってご覧になる場合、リンク設定がある場所ではマウスポインターがに変わります。その場合、クリックするだけで参照するページに移行します。
Adobe® Reader® の基本機能については、Adobe® Reader® ヘルプファイルを参照してください。

目次

1 本機の設定

各部の名称

1 電源ボタン (⏻)

2 フィードボタン (↑🗋)

3 電源表示ランプ **(POWER)**

4 データ表示ランプ **(DATA)**

5 ステータス表示ランプ **(STATUS)**

6 無線 **LAN** 表示ランプ **(WIRELESS LAN)**

7 排紙カバー

8 用紙排出口

9 ティアバー

10 用紙挿入口

11 **USB** ポート

12 **AC/DC** コネクタ

13 充電池カバーロック

14 充電池カバー

15 充電池取り外しリボン

16 充電池収納スペース

電源の種類と操作

本機は、様々な種類の電源により動作します。ご利用方法に合わせて、最適な電源オプション（一部別売品）を選択し、ご購入ください。

AC アダプターおよびカーアダプターは、Ni-MH（ニッケル水素）充電池および Li-ion（リチウムイオン）充電池（以下、両者を合わせた場合に単に「充電池」と呼びます）を本機に装着しなくても、本機に直接電源を供給して印刷することが可能です。

また、AC アダプターおよびカーアダプターは、本機に装着した Ni-MH 充電池を充電する際の電源、または外付けの Li-ion 充電池を充電する際の電源としてご利用いただけます。

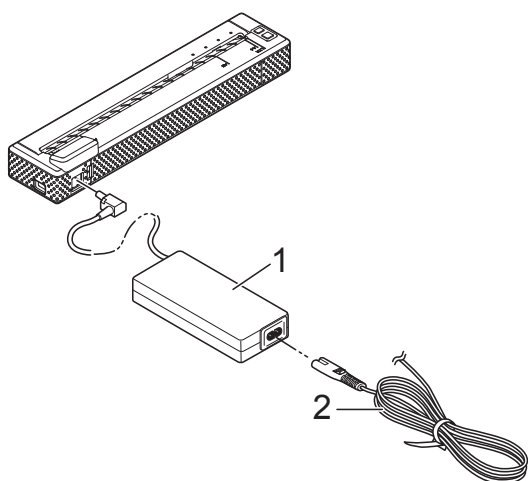
充電池は、AC アダプターまたはカーアダプターによる電源がない場合に、本機に電源を供給して印刷することが可能です。

電源の接続

AC アダプターで接続する

電源コンセントに本機を接続して本機に電源を供給したり、充電池を充電します。

1. AC アダプターに本機を接続します。
2. 電源コードをACアダプターに接続します。

3 電源コードを近くの電源コンセントに差し込みます（AC100V、50/60 Hz）。

1 **AC** アダプター

2 **電源**コード

メモ

AC アダプターをご利用になる時は、束ねているコードをほどいてください。

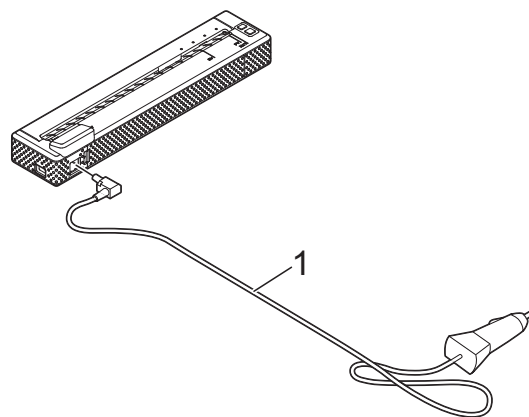
1 本機の電源ボタン (⏻) を**約 1 秒長押し**して電源を入れます。電源表示ランプ (POWER) が緑色に点灯し、待機状態となります。

カーアダプターで接続する（別売品）

車の 12 V 電源コンセント（シガレットライター部など）に本機を接続して、本機に電源を供給したり、充電池を充電します。

1 カーアダプターを車の 12 V 電源コンセントに差し込みます。

2 カーアダプターを本機に接続します。

3 車のエンジンを始動し、本機の電源ボタン (⏻) を**約 1 秒長押し**して電源を入れます。
電源表示ランプ (POWER) が緑色に点灯し、待機状態となります。

1 カーアダプター

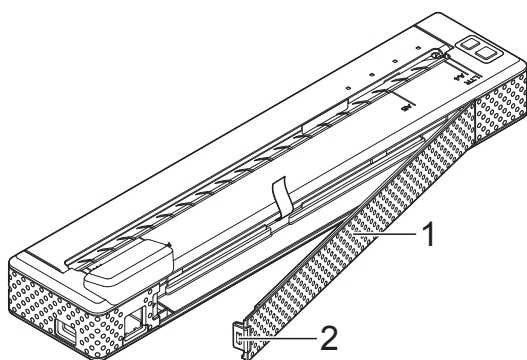
メモ

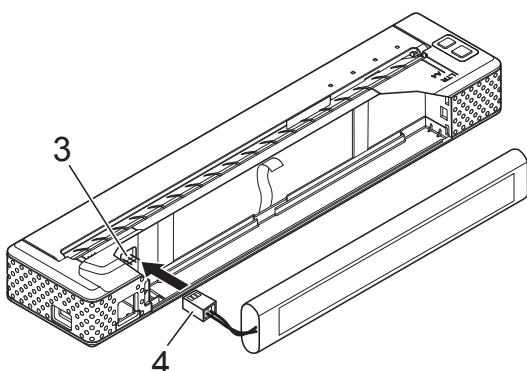
- カーアダプターは別売品です。
- 車両から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。
- 24 V の車両には対応しておりません。

Ni-MH 充電池（ニッケル水素充電池）を使用する

Ni-MH 充電池を装着する

1. 充電池カバーのロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

1　充電池カバー
2　充電池カバーロック

2. カバーを手前に引いて、取り外します。

3. 充電池コネクタの向きを確認して、充電池収納スペース内部の端子に充電池コネクタを差し込みます。

3　端子
4　充電池コネクタ

メモ

本体が上図の向きのとき、4　充電池コネクタは、赤い線の部分が左側となります。

4. 充電池収納スペース内の充電池取り外しリボンの先を持ってください。Ni-MH 充電池を取り外すときに、リボンを持って引くことができるくらい十分に、リボンの先が充電池収納スペースから出ていることを確認してください。

5. リボンを持ちながら、Ni-MH 充電池を傾けて、充電池収納スペースに挿入し、しっかりと押し込んでください。

メモ

- Ni-MH 充電池のラベルに「Ni-MH」と表示されている側が充電池収納スペースの外側に向くようにして装着してください。逆向きに装着すると充電池カバーがしっかり閉まらない場合があります。
- Ni-MH 充電池は、過熱したときに電気の流れを止める熱センサーが装備されています。

6. 充電池収納スペースの端（AC/DC コネクタの反対側）に充電池カバーをはめて、カバーを閉めてください。
必要に応じて、静かに AC/DC コネクタの方向へ充電池カバーロックを押し、しっかりとカバーを閉じてください。

メモ

- 充電池コネクタのコードをカバーで挟まないように注意してください。
- Ni-MH 充電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

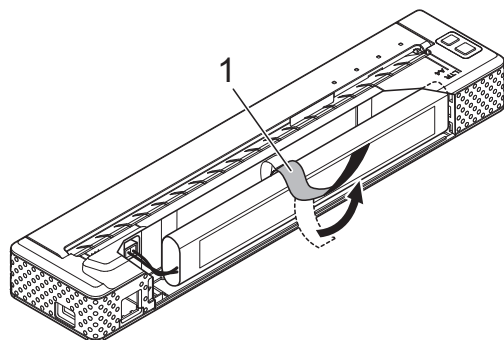
Ni-MH 充電池を取り外す

1. 充電池カバーロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

2. カバーを手前に引いて、取り外します。

3 Ni-MH 充電池が傾き始めるまで、充電池取り外しリボンを静かに引っ張ります。

1 充電池取り外しリボン

メモ

もし、充電池取り外しリボンが充電池の背後に入ってしまっている場合は、充電池と充電池収納スペースのすき間にマイナスドライバーのような薄い金属物を入れて、充電池を持ち上げて、充電池を取り外してください。その際、充電池の被服を傷つけないよう注意してください。

4 Ni-MH 充電池収納スペースから取り出してください。

5 充電池収納スペース内部の端子から充電池コネクタを静かに引っ張って、取り外します。

Ni-MH 充電池を充電する

次の手順で Ni-MH 充電池を充電してください。

メモ

- Ni-MH 充電池をご購入された直後は、以降の手順で充電を行ってからご使用ください。
- Ni-MH 充電池を満充電にするには約 120 分必要です。新品の Ni-MH 充電池では、満充電状態から約 70 枚（A4 換算）の印刷が可能です。

1 Ni-MH 充電池を本機に装着します。

2 本機に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または本機にカーアダプターを接続して車の電源ソケットに差し込みます。

3 本機の電源が入っていないことを確認します。

4 電源ボタン (⏻) を電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅を始めるまで、数秒間押します。

メモ

- PJ-673 ユーティリティの設定によっては、Ni-MH 充電池のリフレッシュを行った後、充電池の充電が始まる設定があります。詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」（56 ページ）をご覧ください。
- 電源表示ランプ (POWER) が緑色とオレンジ色に点滅しているときは、充電池に残っている電気を放電して、充電池のリフレッシュを行っています。詳しくは、「Ni-MH 充電池の特性について」（5 ページ）をご覧ください。
- Ni-MH 充電池の電気残量が多い場合は、充電池のリフレッシュを行わない場合があります。
- Ni-MH 充電池のリフレッシュ中に、電源ボタン (⏻) を長押しすると、リフレッシュを中断して、充電を開始します。

5 Ni-MH 充電池は、リフレッシュを完了すると、自動的に充電を開始します。充電が完了するまで、電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅します。
充電が完了すると、電源表示ランプ (POWER) が消灯します。

Ni-MH 充電池の充電を中止するには

Ni-MH 充電池の充電を中止するには、電源ボタン (⏻) を 2 回すばやく押し、電源を切ります。

Ni-MH 充電池について

- Ni-MH 充電池を購入された直後は、充電を行ってからご使用ください。
- Ni-MH 充電池は、使用していなくても時間の経過とともに少しずつ放電され、電気量が減っていきます。
- 本機を電源コンセントに接続している間は、微弱な電流を流して充電し続けています。これを「トリクル充電」といいます。放電による電気残量の低下を抑えられます。このため、本機に Ni-MH 充電池を装着している際は、ご使用にならない場合でも電源コンセントに接続することをお勧めします。
- Ni-MH充電池の充電可能な温度範囲は5℃～ 40 ℃です。この範囲内の温度環境で充電を行ってください。充電中に、この範囲外の温度環境に達すると、充電エラーとなり、充電を中止します。表示ランプのエラー内容は、「表示ランプ」（65 ページ）で確認できます。
- 充電池は、濃度設定を濃くして印刷すると、薄い印刷よりも早く、電気を消耗します。印刷濃度はプリンタードライバーの設定画面（「プリンタードライバーの設定」（44 ページ））または、PJ-673 ユーティリティ（「印字濃度」（58 ページ））で設定できます。
- Ni-MH 充電池が充電後にも関わらず、急に電気容量が少なくなった場合は、充電池を取り替える前に充電池のリフレッシュをお試しください。

本機を長期間使用しないときは

- 本機を長期間使用しないときは、Ni-MH 充電池を外して、直射日光の当たらない、涼しい場所に保管してください。
- 長期間使用していない Ni-MH 充電池は、過放電や不活性化した状態になっている場合があります。過放電や不活性化を防ぐためにも 3ヶ月に 1 回は充電池のリフレッシュと充電を行なうことをお勧めします。
- その他の注意事項については、Ni-MH 充電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

Ni-MH 充電池の特性について

- 放電

  Ni-MH 充電池の電気が消耗されることを放電と言います。充電池は使用していなくても、時間の経過と共に少しずつ放電され、電気の量が減っていきます。電気が完全に放出されたときは、再充電するまで使用できません。

- リフレッシュ

  リフレッシュは、Ni-MH 充電池を充電する際、最大限に充電することができるように、一旦、充電池に残っている電気の放電を行うことを言います。電源ボタン (⏻) を電源表示ランプ (POWER) が緑色とオレンジ色に点滅を始めるまで、数秒間押します。充電時に追加充電をするか、リフレッシュ充電をするかどうかは、設定により変わります。詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」（56 ページ）をご覧ください。

- 過放電

  Ni-MH 充電池が放電しすぎて、ある一定の終止電圧以下になることを過放電と言います。過放電は、充電するとある程度回復しますが、電池性能は以前のようには戻りません。
  過放電にならないように、定期的に充電を行ってください。

- 不活性化

  不活性化とは、長期間使用していないと Ni-MH 充電池内部の化学反応力が低下して、使用時間が短くなることを言います。これは一時的なもので、1 時間ほどトリクル充電を行ってから、充電を行ってください。ただし、1 年以上使用していない場合は、元に戻らないことがあります。

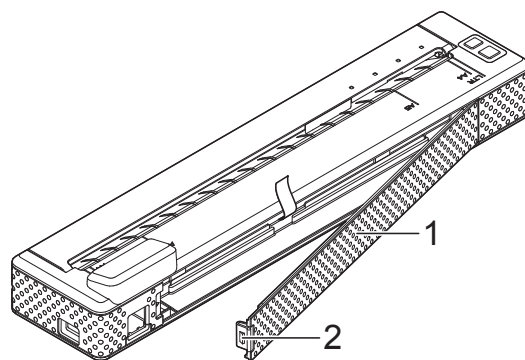
■ トリクル充電

トリクル充電とは、微弱な電流を流して充電し続けることを言います。充電池は使用しなくても、時間の経過と共に少しずつ放電され、電気の量が減ってきます。トリクル充電はそれを防ぎます。

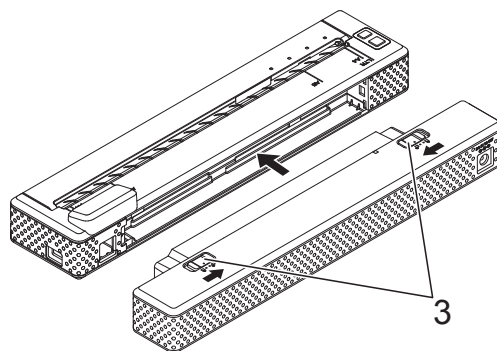
Li-ion 充電池（リチウムイオン充電池）を使用する（別売品）

Li-ion 充電池を装着する

1. 充電池カバーのロックを押しながら、充電池カバーを開けます。

1 充電池カバー

2 充電池カバーロック

2. カバーを手前に引いて、取り外します。

3. Li-ion 充電池のスライドスイッチを内側にスライドさせて、充電池を充電池収納スペースにはめ込みます。

3 スライドスイッチ

メモ

Li-ion 充電池を装着するときは、充電池取り外しリボンを充電池収納スペース内にしまってください。Li-ion 充電池を取り出すときは、充電池取り外しリボンは必要ありません。

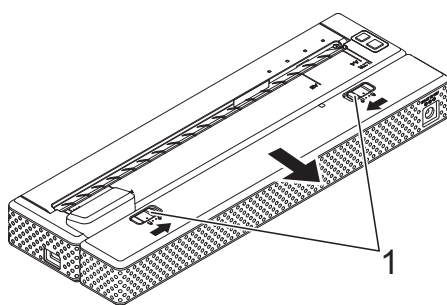
4 スライドスイッチを元の位置（外側）へスライドさせて、充電池を本機に接続します。

メモ

Li-ion 充電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

Li-ion 充電池をご利用になられる場合は、充電池カバーは使用しません。なくさないよう大切に保管ください。

Li-ion 充電池を取り外す

Li-ion 充電池のスライドスイッチを内側にスライドさせて、本機から Li-ion 充電池を取り外します。

1 スライドスイッチ

Li-ion 充電池を充電する

Li-ion 充電池は、本機に取り付けた状態でも、充電池単体でも充電することが可能です。

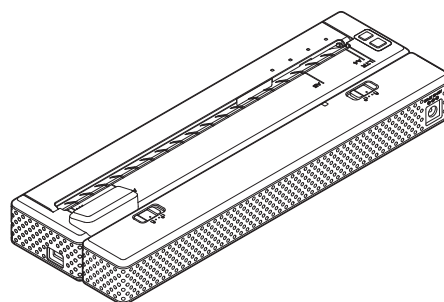
次の手順で Li-ion 充電池の充電を行ってください。

メモ

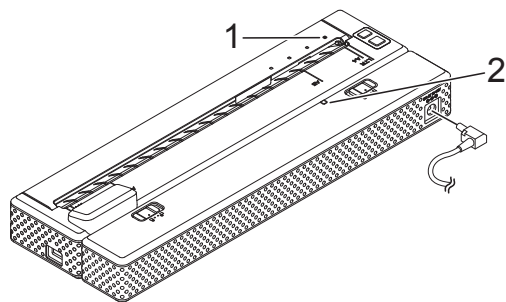
- Li-ion 充電池を購入された直後は、以降の手順で充電を行ってからご使用ください。
- Li-ion 充電池を満充電にするには、AC アダプターと接続して約 180 分必要です。新品の Li-ion 充電池では、満充電状態から約 300 枚（A4 換算）の印刷が可能です。

本機に取り付けて充電する

1 本機の電源が入っていないことを確認します。

2 Li-ion 充電池が本機に取り付けられていることを確認します。

3 Li-ion 充電池に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または充電池にカーアダプターを接続して車の電源コンセントに差し込みます。

Li-ion 充電池の充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

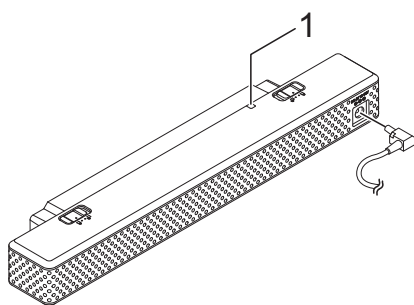
充電を完了すると、Li-ion 充電池の充電表示ランプが消灯します。

1 電源表示ランプ (POWER)

2 Li-ion 充電池の充電表示ランプ

Li-ion 充電池単体で充電する

Li-ion 充電池に AC アダプターと電源コードを接続して電源コンセントに差し込むか、または充電池にカーアダプターを接続して車の電源コンセントに差し込みます。

Li-ion 充電池の充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

充電を完了すると、Li-ion 充電池の充電表示ランプが消灯します。

1 Li-ion 充電池の充電表示ランプ

Li-ion 充電池の充電を中止するには

Li-ion 充電池の充電を中止するには、電源コードまたはカーアダプターを充電池の AC/DC コネクタから抜きます。

Li-ion 充電池について

- Li-ion 充電池を購入された直後は、充電を行ってからご使用下さい。
- 充電池は、濃度設定を濃くして印刷すると、薄い印刷よりも早く、電気を消耗します。印刷濃度はプリンタードライバーの設定画面（「プリンタードライバーの設定」（44 ページ））または、PJ-673 ユーティリティ（「印字濃度」（58 ページ））で設定できます。
- Li-ion 充電池は、Ni-MH 充電池のように充電池のリフレッシュやトリクル充電を行う必要はありません。
- Li-ion 充電池の充電可能な温度範囲は 0 ℃～ 40 ℃です。この範囲内の温度環境で充電を行ってください。充電時の環境温度がこの範囲外の場合、Li-ion 充電池は一旦充電を停止し、Li-ion 充電池の充電表示ランプが点灯したままになります。その後、環境温度がこの範囲内に戻った場合は、再び充電を再開します。
- Li-ion 充電池を本機に装着した状態で、AC アダプターと電源コード、もしくはカーアダプターを接続し、さらに自動電源オフ機能の設定をしている場合は、設定された時間が経過すると本機の電源が切れ、Li-ion 充電池の充電に移行します（「自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）」（56 ページ））。本機の電源を入れてから最大 180 分が経過すると、Li-ion 充電池の充電表示ランプが消灯して充電を終了します。

❗	本機の電源が入っている状態で、本機に Li-ion 充電池と AC アダプターと電源コード、またはカーアダプターを接続して使用していると、満充電になっていない場合でも、Li-ion 充電池の充電表示ランプが消灯して、充電を終了する場合があります。満充電にするためには、本機の電源を切って充電してください。

- カーアダプターを接続して充電する場合、電源コンセントから供給される電圧が、満充電にするために必要な電圧に満たないことがあります。満充電になっていなくても、充電を開始してから最大 180 分が経過すると、Li-ion 充電池の充電表示ランプが消灯して充電を終了します。

Li-ion 充電池の特性について

Li-ion 充電池を長くご利用いただくために、充電池の性質を理解してご利用ください。

- 高温、低温でのご使用や保管は Li-ion 充電池の劣化を早めることがあります。特に高充電状態（充電容量 90% 以上）で、高温環境下にあると、著しく劣化が進みます。
- 充電しながらのご使用は、Li-ion 充電池の劣化を早めることがあります。Li-ion 充電池を装着して本機を使用する場合は、AC アダプターやカーアダプターを抜いてください。
- Li-ion 充電池を充電する場合は、できるだけ容量を使い切ってから行ってください。

本機を長期間使用しないときは

- 本機を長期間使用しないときは Li-ion 充電池を本機から取り外し、直射日光の当たらない、涼しい場所に保管してください。
- Li-ion 充電池を長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度は充電を行うことをお勧めします。
- その他の注意事項については、Li-ion 充電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

充電池の概要

本機では 2 種類の充電池が使用可能です。各充電池の特徴については下記をご覧ください。

	Ni-MH 充電池	Li-ion 充電池
充電池取り付け場所	本機に格納	本機に外付け
印刷時充電	対応	対応
トリクル充電	対応	非対応
充電機構場所	本機内	充電池内
およその充電時間	120 分	180 分
およその印刷ページ数（満充電）	70 枚（A4 換算）	300 枚（A4 換算）
充電池リフレッシュ機能	対応	非対応
充電池単体での充電	非対応	対応

Ni-MH 充電池は、トリクル充電を必要とするため、普段から電源（AC アダプターと電源コード、またはカーアダプター）を接続してご利用ください。
一方、Li-ion 充電池は、こまめに充電すると Li-ion 充電池の寿命を縮めることになりますので、できるだけ電気を使いきってから充電するようにしてください。

本機と iOS デバイスを接続する

!	iOS デバイスから印刷する場合は、弊社が提供する商品やサービスとは別に、ソフトウェア開発企業の作成した印刷ソフトウェアが必要です（弊社からは SDK を提供しています）。iOS デバイス向けの印刷ソフトウェアは、開発企業にご相談ください。

メモ

- 本機は、認証方式はオープンシステム、暗号化方式は「なし」もしくは「WEP」のアドホックモードでの接続が可能です。
- アドホックモードで本機に接続している間は、Wi-Fi を使って、インターネットにはつながりません。また、iOS デバイスがスリープモードになると、本機と iOS デバイスとの接続が切断されます。

無線 LAN で接続して iOS デバイスから印刷する場合

本機の初期設定値は以下のとおりです。

「本体設定の印刷」（69 ページ）にしたがって、あらかじめ本体設定を印刷しておくと便利です。

SSID（ネットワーク名）：PJ-673_XXXX（XXXX はシリアル番号の下 4 桁）

暗号化方式：　WEP

WEP キー：シリアル番号の下 5 桁

IP アドレス：169.254.100.1

サブネットマスク：255.255.0.0

プリンターとの接続（初期設定のまま使用する場合）

ここで設定する方法は、工場出荷時の本機の初期設定をそのまま利用して iOS デバイスと接続する場合です。設定を変更する場合には、プリンターの設定（12 ページ）から読んでください。

また、一旦設定した後でも、本機の無線 LAN 設定を変更した場合、iOS デバイスでは、本機との接続をやり直す必要があります。

1. 本機の電源を入れます。
2. 電源表示ランプ(POWER)が点灯しているのを確認して、電源ボタンを長押し（3 秒以上）し、無線 LAN 接続モードに切換えます。無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN）が点滅していることを確認してください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」（38 ページ）をご覧ください。
3. iOS デバイスの**設定アプリ** を起動します。
4. ［**Wi-Fi**］を選択します。
   ［**Wi-Fi**］が［オフ］となっている場合は、［オン］に変更します。

5. 接続可能な Wi-Fi のネットワーク (SSID) の一覧が表示されます。

本機に初期設定されているネットワーク (SSID) をタップすると、ネットワーク（SSID) にチェックマークがつき、接続されます。
パスワードは、初期設定値の WEP キー（シリアル番号の下 5 桁の数字) を入力してください。
iOS デバイス上で SSID を検索して表示させるには、一定の時間がかかります。うまく表示されない場合は、Wi-Fi を一旦「オフ」に切換え、再度「オン」にしてください。)

6 無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅から点灯に変わったら、プリンターと接続されました。
SDK から作成した印刷ソフトウェアで印刷をします。

メモ

無線 LAN の接続には、1 分以上かかることがあります。端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。

■ 印刷ができなくなったら

以下の場合には、本機と iOS デバイスとの無線 LAN 接続が切断され、印刷ができなくなります。

1. iOS デバイスがスリープモードになったとき

2. 本機の電源が切れたとき

3. 本機を USB 接続モードに切換えたとき

上記の場合には、以下の方法で再び接続し直してください。

1. 11 ページの手順 ❸ からアドホックモードの SSID を選び直してください。

2. 11 ページの手順 ❶ から接続をし直してください。

3. 電源ボタンを 3 秒以上長押しして無線 LAN 接続モードに切換え、11 ページの手順 ❸ からアドホックモードの SSID を選び直してください。

プリンターの設定 (初期設定を変更する場合)

メモ

- 本機と iOS デバイスとを無線 LAN 接続で使用する場合でも、本機の初期設定を変更するには Windows® PC と USB ケーブルが必要ですのでご用意ください。その過程で Windows® PC 上に USB 接続のプリンタードライバーがインストールされます。
- 無線 LAN 接続で使用する場合、本機と iOS デバイスの双方で設定が必要です。本機の設定はプリンタードライバーのインストールと合わせて行いますが、iOS 側の設定は手動で行う必要があります。本書の手順に従って設定をしてください。
- 管理者権限で Windows® PC にログインしてください。
- 設定の過程で、管理者権限の要求や、管理者権限で操作することに対する確認の要求を表すダイアログが表示される場合は、それに従ってください。
- 設定の過程で、インストールを継続することに対する確認の要求を表すダイアログが表示される場合は、インストールを継続してください。

- 本書の説明は、無線ネットワーク接続に関して、OS 標準の設定手順が利用可能となっている場合を対象としています。それ以外の場合は、ご使用の無線用アダプターに付属の手順書をご覧ください。

1. 付属の CD-ROM をお持ちの場合は、付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、表示された画面で［**標準インストール**］ボタンをクリックします。Web 版をダウンロードされた場合は、ダウンロードしたファイルを実行します。
［**次へ**］をクリックします。

2. ［**無線 LAN 接続**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

3. USB ケーブルで一時的に Windows® PC と本機を接続し、USB 接続モードで本機の電源を入れます（工場出荷時は USB 接続モードになっています）。もし無線 LAN 接続モード（無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅）になっている場合は、USB 接続モードに切換えてください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」（38 ページ）をご覧ください。
自動で次の画面に進みます。

4. ［**WLAN 設定**］画面に無線 LAN 用の設定情報が表示されます。［**WLAN 設定**］の内容を入力して、［**設定を送信する**］をクリックします。
変更した設定値を、メモに控えておいてください。

メモ

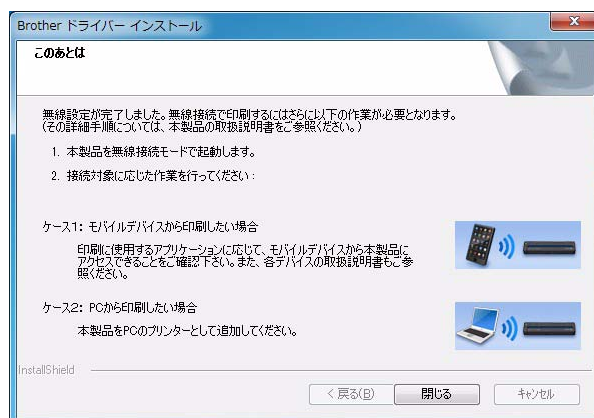
WEP キーを変更する場合、ASCII 文字なら 5 文字もしくは 13 文字、16 進数で入力する場合は 10 文字もしくは 26 文字で入力してください。

WLAN 設定は、後で Windows® PC から PJ-673 ユーティリティによって変更することが可能です。詳細は「PJ-673 ユーティリティメニュー」-「4.WLAN 設定」(61 ページ)をご覧ください。

SSID	
IP アドレス	
サブネットマスク	
WEP キー	

	[接続モード]、[認証方式]、[IP アドレスの設定]はそれぞれ[アドホック]、[オープンシステム]、[STATIC]に固定されて選択することはできません。

5 USB ケーブルを外すと、自動で次の画面に進みます。

6 [閉じる]をクリックします。
これで Windows® PC を使った本機の設定は完了です。

メモ

この作業で、あわせて Windows® PC 上にプリンタードライバーや設定ユーティリティをインストールしました。後で、この Windows® PC を使って、設定を変更することができます。「PJ-673 ユーティリティメニュー」-「4.WLAN 設定」(61 ページ)をご覧ください。

次に iOS デバイスと本機との接続を行います。

プリンターとの接続(初期設定を変更する場合)

1 本機の電源を入れます。

2 電源表示ランプ(POWER)が点灯しているのを確認して、電源ボタンを長押し(3 秒以上)し、無線 LAN 接続モードに切換えます。無線 LAN 表示ランプ(WIRELESS LAN)が点滅していることを確認してください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」(38 ページ)をご覧ください。)

3 iOS デバイスの設定アプリ を起動します。

4 [Wi-Fi]を選択します。
[Wi-Fi]が[オフ]となっている場合は、[オン]に変更します。

5 接続可能な Wi-Fi のネットワーク（SSID）の一覧が表示されます。
プリンターの設定 (初期設定を変更する場合) の手順 ❹ でメモしたネットワーク名（SSID）をタップすると、ネットワーク（SSID）にチェックマークがつき、接続されます。
（[暗号化方式] を WEP に設定した場合は、パスワードに WEP キーを入力してください。
iOS デバイス上で SSID を検索して表示されるには、一定の時間が掛かります。上手く表示されない場合は、Wi-Fi を一旦「オフ」に切り替え、再度「オン」にしてください。

6 無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅から点灯に変わったら、プリンターと接続されました。SDK から作成した印刷ソフトウェアで印刷をします。

メモ

無線 LAN の接続には、1 分以上かかることがあります。端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。

■ 印刷ができなくなったら

以下の場合には、本機と iOS デバイスとの無線 LAN 接続が切断され、印刷ができなくなります。

1. iOS デバイスがスリープモードになったとき

2. 本機の電源が切れたとき

3. 本機を USB 接続モードに切換えたとき

上記の場合には、以下の方法で再び接続し直してください。

1. 14 ページの手順 ❸ からアドホックモードの SSID を選び直してください。

2. 14 ページの手順 ❶ から接続をし直してください。

3. 電源ボタンを 3 秒以上長押しして無線 LAN 接続モードに切換え、14 ページの手順 ❸ からアドホックモードの SSID を選び直してください。

本機と Windows® PC を接続する

Windows® PC から無線 LAN で接続して印刷する場合

メモ

- 本機は、認証方式はオープンシステム、暗号化方式は「なし」もしくは「WEP」のアドホックモードでの接続が可能です。
- プリンタードライバーを Windows® PC にインストールする過程で本機の設定を行います。あらかじめ Windows® PC と USB ケーブルをご用意ください。
- 管理者権限でログインしてください。
- 設定の過程で、管理者権限の要求や、管理者権限で操作することに対する確認の要求を表すダイアログが表示される場合は、それに従ってください。
- 設定の過程で、インストールを継続することに対する確認の要求を表すダイアログが表示される場合は、インストールを継続してください。
- 本書の説明は、無線 LAN によるネットワーク接続に関して、OS 標準の設定手順が利用可能となっている場合を対象としています。それ以外の場合は、ご使用の無線 LAN アダプターまたは Windows® PC に付属の手順書をご覧ください。
- ファイアウォールをご利用になられている場合、正しくインストール出来ない場合がございます。TCP/IP の 9100 番ポートを解放してください。操作が分からない方は、設定を行った管理者に確認してください。
- インストール中は、お使いの PC の有線 LAN ケーブルを取り外すか、有線 LAN 接続を無効にしてください。

本機の初期設定値は以下のとおりです。

「本体設定の印刷」（69 ページ）にしたがって、あらかじめ本体設定を印刷しておくと便利です。

SSID（ネットワーク名）：PJ-673_XXXX
（XXXX はシリアル番号の下 4 桁）

暗号化方式： WEP

WEP キー：シリアル番号の下 5 桁

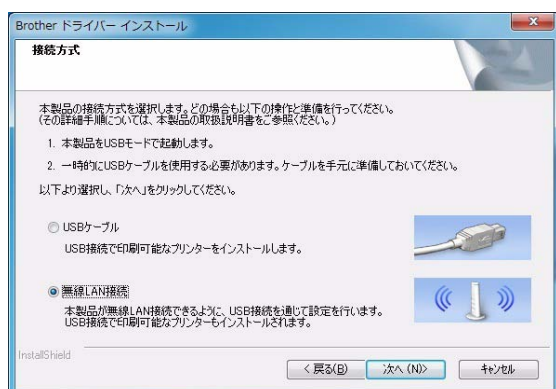
IP アドレス：169.254.100.1

サブネットマスク：255.255.0.0

プリンターの設定（初期設定のまま使用する場合）

本機を初期設定のまま使用される場合、プリンターの設定は必要ございませんが、Windows® PC 側の設定は手動で行う必要があります。
本書の手順に従って設定をしてください。

1. 付属の CD-ROM をお持ちの場合は、付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、表示された画面で［標準インストール］ボタンをクリックします。Web 版をダウンロードされた場合は、ダウンロードしたファイルを実行します。
［次へ］をクリックします。

2 ［**無線 LAN 接続**］を選択し、［次へ］をクリックします。

3 USB ケーブルで Windows® PC と本機を接続し、本体の電源を入れます。本機がもし無線 LAN 接続モード（無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅）になっている場合は、USB 接続モードに切換えてください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」（38 ページ）をご覧ください。
自動で次の画面に進みます。

4 ［**設定を送信する**］をクリックします。

5 USB ケーブルを外すと、自動で次の画面に進みます。

6 ［**閉じる**］をクリックします。
これでインストールは完了です。

引き続き、Windows® PC の設定とプリンターの追加を行います。

Windows® PC の設定

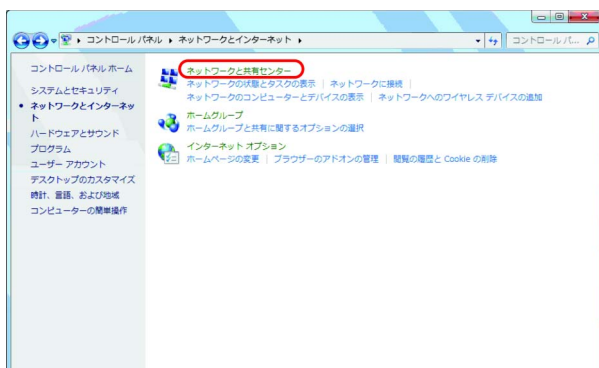
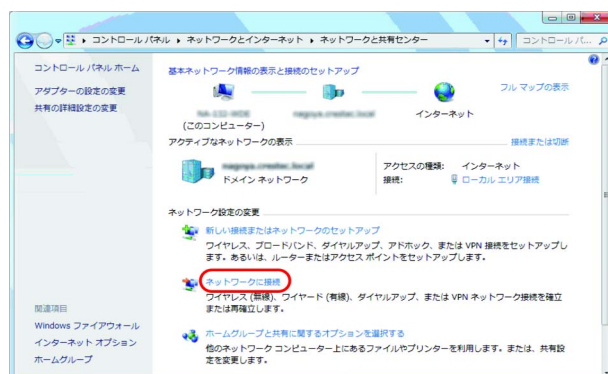
これから、無線 LAN の接続設定を行います。OS ごとに接続方法が異なりますので、該当する OS の接続方法をご確認ください。この後、また OS ごとに分けてプリンターの追加（21 ページ以降）方法を説明します。「プリンターの追加」まで行うことで、印刷の設定が完了となりますので、気をつけてください。

尚、お使いの Windows® PC の無線 LAN 機能が無効になっている場合は、有効に変更してください。

本機も無線 LAN 接続モードに切換えてください。無線 LAN 接続モードは、電源を入れ、電源表示ランプ (POWER) が点灯しているのを確認して、電源ボタンを 3 秒以上長押しします。無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅していることを確認してください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」（38 ページ）をご覧ください。

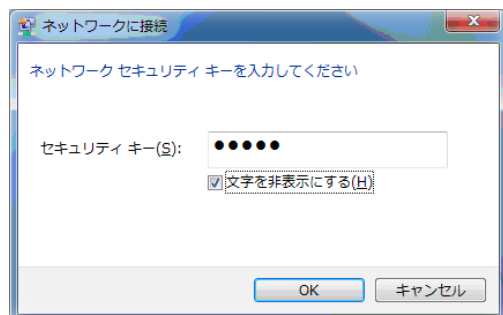
■ Windows® 7 の場合

1 ［スタートメニュー］から ［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット］の順に選択します。

2 ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3 ［ネットワークに接続］をクリックします。

4 本機の初期設定値にある SSID を選択し ［接続］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることと、無線 LAN 接続モードになっていること（無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN) が点滅していること）を確認し、画面上の更新ボタンを押してください。それでも表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

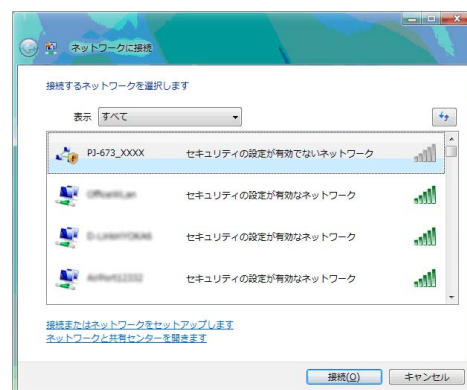
5 セキュリティキーには、本機の初期設定値にある、WEP キー（シリアル番号の下 5 桁）を入力し、［**OK**］をクリックします。

6 無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅から点灯に変わったら、プリンターとの接続は完了です。
続いてプリンターの追加（21 ページ）を行ってください。

メモ

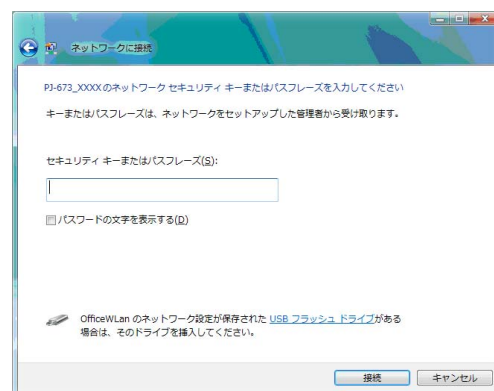
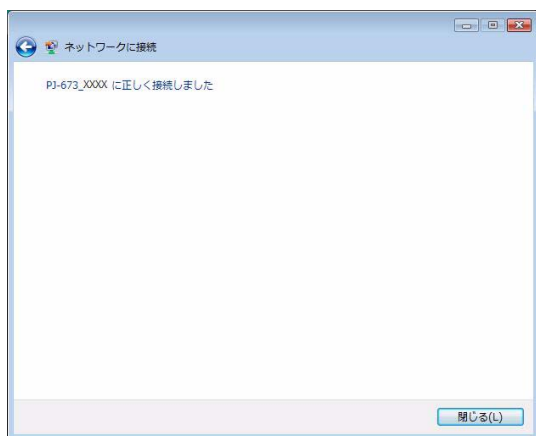
- 本機はアドホック接続となりますので、他の無線 LAN アクセスポイントと排他的に接続します。無線 LAN ネットワークを使っている場合は、ご注意ください。
- 無線 LAN の接続には、1 分以上かかることがあります。端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。

■ Windows Vista® の場合

1 ［スタートメニュー］から［**接続先**］を選択します。

2 ネットワーク接続画面から、本機の初期設定値にある SSID を選択し［**接続**］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることと、無線 LAN 接続モードになっていること（無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN) が点滅していること）を確認し、画面上の更新ボタンを押してください。それでも表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

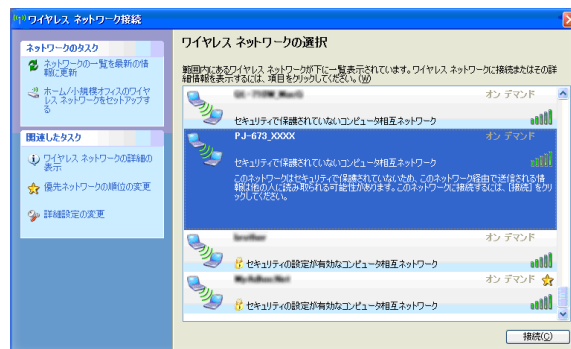
3 セキュリティキーまたはパスフレーズには、本機の初期設定値にある、WEP キー（シリアル番号の下 5 桁）を入力し、［**接続**］をクリックします。

4 ［正しく接続しました］と表示されたら、設定は完了です。［閉じる］をクリックしてください。
続いてプリンターの追加（24 ページ）を行ってください。

メモ

- 本機はアドホック接続となりますので、他の無線 LAN アクセスポイントと排他的に接続します。無線 LAN ネットワークを使っている場合は、ご注意ください。
- 無線 LAN の接続には、1 分以上かかることがあります。端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。

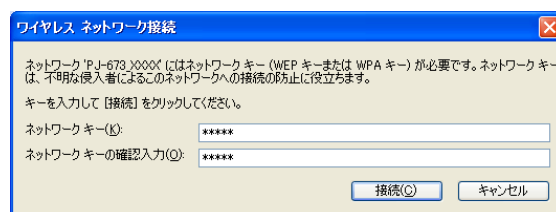
■ Windows® XP の場合

1 ［スタートメニュー］から［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順に選択します。

2 ［ワイヤレスネットワーク接続］を選択し、右クリックで［利用できるワイヤレスネットワークの表示］を選択してください。

3 現在確認できる SSID の一覧が表示されますので、本機の初期設定値にある SSID を選択し［接続］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、プリンターの電源が入っていることと、無線 LAN 接続モードになっていること（無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN) が点滅していること）を確認し、画面上の更新ボタンを押してください。それでも表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

4 ネットワークキーには、本機の初期設定値にある、WEP キー（シリアル番号の下 5 桁）を入力し、［接続］をクリックします。

5 無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅から点灯に変わったら、プリンターとの接続は完了です。
続いてプリンターの追加（26 ページ）を行ってください。

メモ

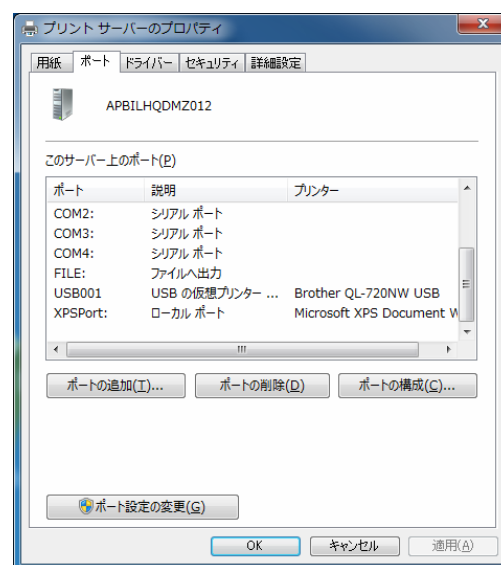
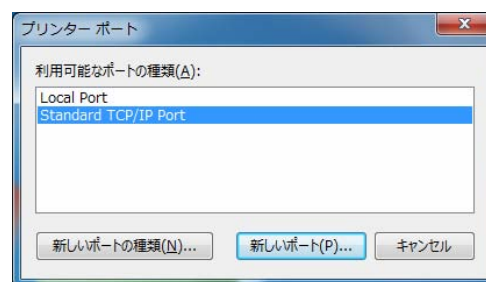
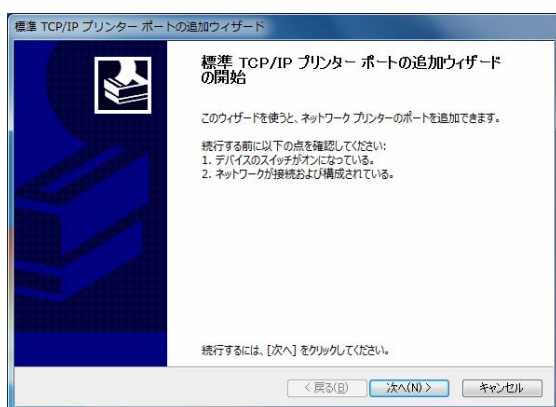
- 本機はアドホック接続となりますので、他の無線 LAN アクセスポイントと排他的に接続します。無線 LAN ネットワークを使っている場合は、ご注意ください。
- 無線 LAN の接続には、1 分以上かかることがあります。端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。

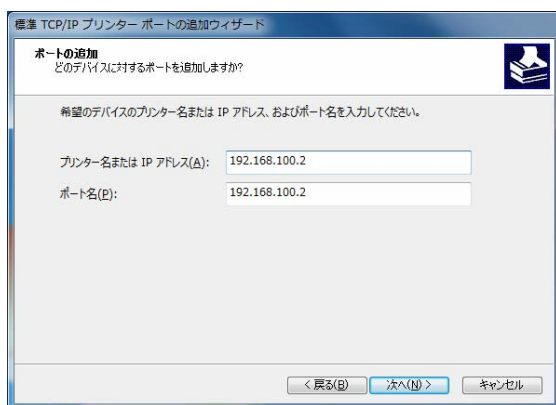
プリンターの追加

メモ

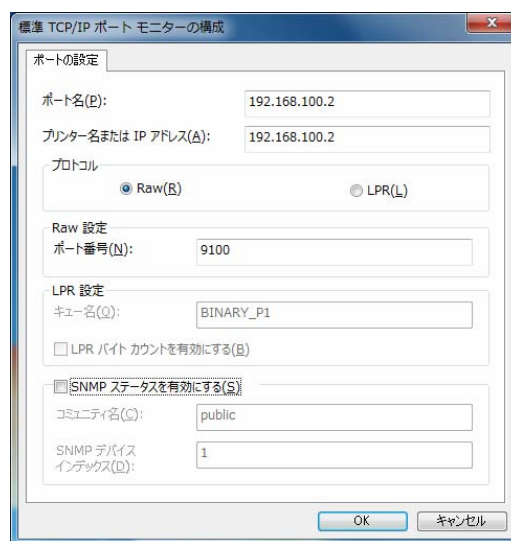
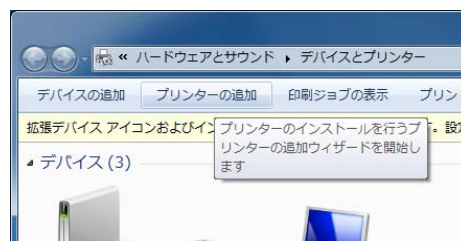
- プリンターの電源を入れ、無線 LAN 接続モードにしておきます。(38 ページ)
- プリンターの追加を行うと、[**Brother PJ-673 USB**] と [**Brother PJ-673**] の 2 つのプリンタ—名が作成されます。前者は USB 接続で印刷するとき、後者は無線 LAN 接続で印刷するときに選択してください。

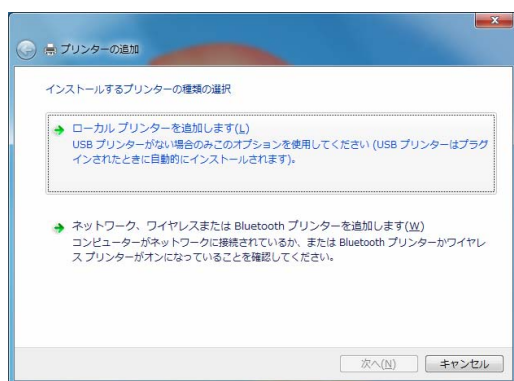
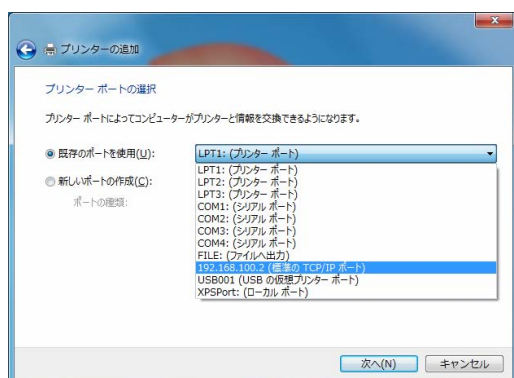
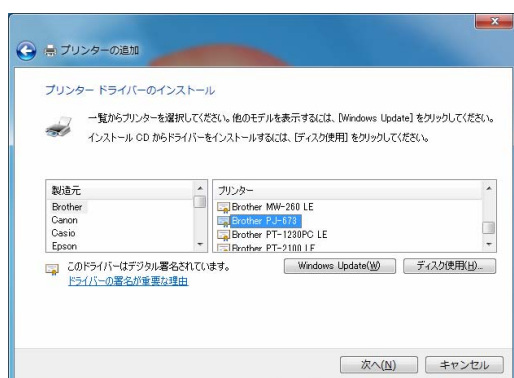
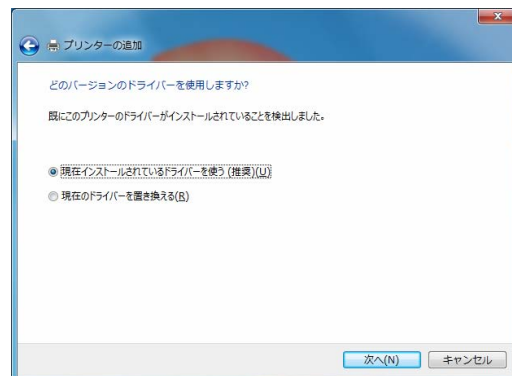
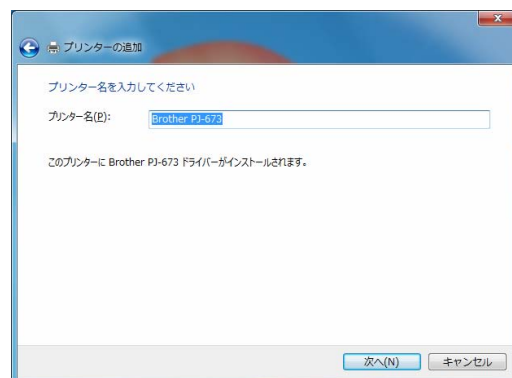
■ Windows® 7 の場合

1. [スタート] - [デバイスとプリンター] を開きます。
2. [プリンターと **FAX**] の中の任意のプリンターを選択して、メニューに表示される [プリントサーバープロパティ] をクリックし、[ポート] タブ内の [**ポート設定の変更**] をクリックします。

3. [ポートの追加] をクリックし、[**Standard TCP/IP Port**] を選択して、[新しいポート] をクリックします。

4. [標準 **TCP/IP** プリンターポートの追加ウィザード] 画面が表示されます。
[次へ] をクリックして、画面の指示に従ってください。

5 ［プリンター名または **IP** アドレス］欄に IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

メモ

初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力します。設定を変更した場合は、変更した値を入れてください。

6 ポートが自動検出された場合：［完了］をクリックします。

ポートが自動検出されなかった場合：
［カスタム］を選択して、［**設定 ...**］をクリックします。
下記の値を入力し、［**OK**］をクリックします。
プロトコル：Raw
Raw 設定：9100
SNMP ステータスを有効にする：チェックを外す
ポート名には、設定した IP アドレスを入力します。初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力してください。
［**OK**］をクリックすると前の画面に戻るので、［次へ］をクリックし、［完了］をクリックします。

7 ［スタート］-［デバイスとプリンター］を開き、［プリンターの追加］をクリックします。

⑧ ［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。

❗	ここで間違いなくローカルプリンターの追加を選んでください。

⑨ 作成した TCP/IP ポートを選択して［次へ］をクリックします。

⑩ ［**Brother PJ-673**］を選択して［次へ］をクリックします。

⑪ もし以下の画面が表示されたら、［**現在インストールされているドライバーを使う（推奨）**］を選択して［次へ］をクリックします。

⑫ ［次へ］をクリックします。

 メモ

このあとは、画面の指示に従ってプリンターの追加を完了してください。プリンターの共有を選択する画面が現れたら、「共有しない」を選択してください。

⑬ 任意のアプリケーションを使って、本機から印刷ができることを確認します。

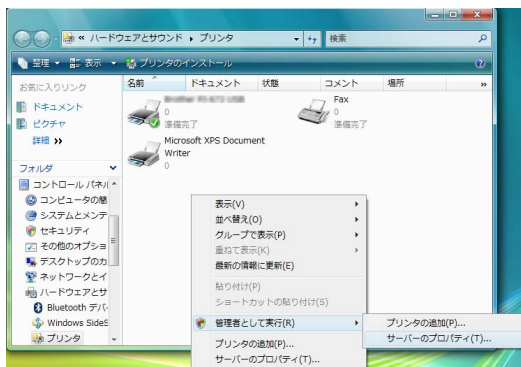
■ 印刷ができなくなったら

本機の電源を切った場合、無線 LAN 接続も切断されるため、再度電源を入れても接続をし直さないと印刷ができません。

本機の電源を入れ、電源ボタンを 3 秒以上長押しして無線 LAN 接続モードにし、Windows® PC の設定（17 ページまたは 30 ページ）から接続をし直してください。

■ Windows Vista® の場合

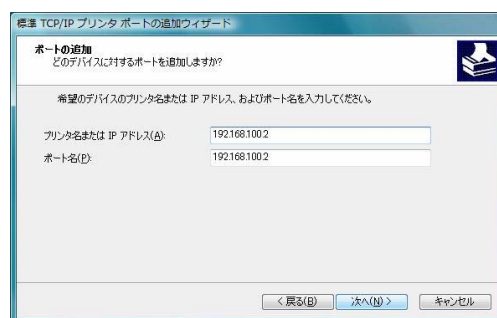
1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］を開きます。

2 画面上で右クリックし、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブ内の［ポートの追加］をクリックします。

4 ［**Standard TCP/IP Port**］を選択して、［新しいポート］をクリックします。

5 ［標準 **TCP/IP** プリンタポートの追加ウィザード］画面が表示されます。［次へ］をクリックして、画面の指示に従ってください。

6 ［プリンタ名または **IP** アドレス］欄に IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

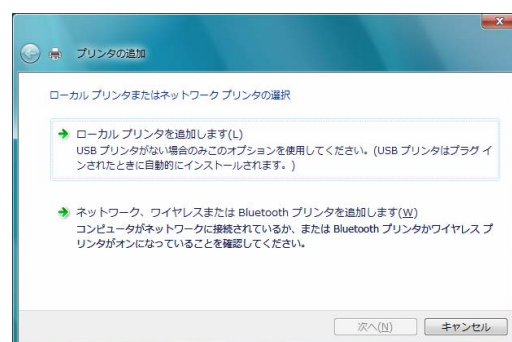
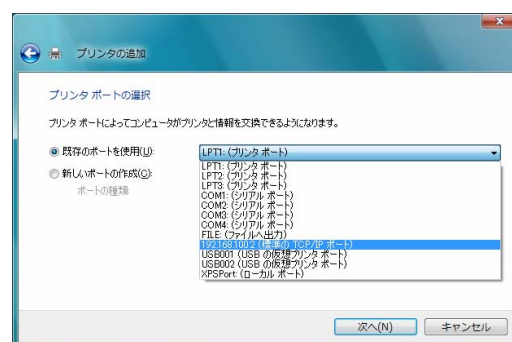
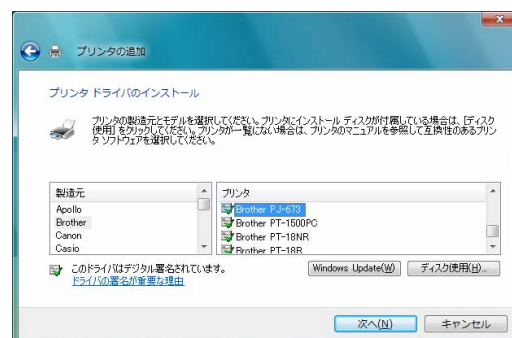
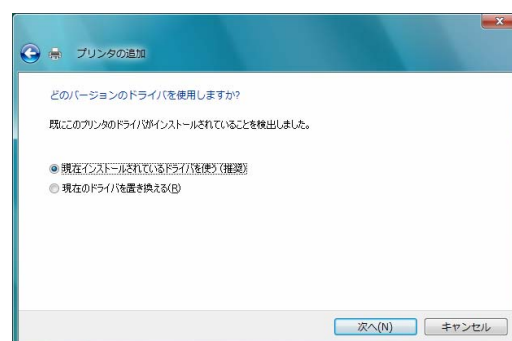
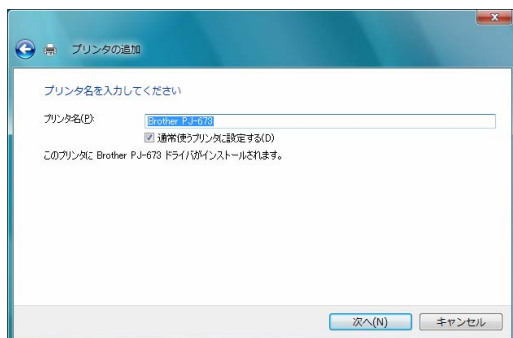
メモ

初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力します。設定を変更した場合は、変更した値を入れてください。

7 ポートが自動検出された場合：［完了］をクリックします。

ポートが自動検出されなかった場合：
［カスタム］を選択して、［**設定 ...**］をクリックします。
下記の値を入力し、［**OK**］をクリックします。
プロトコル：Raw
Raw 設定：9100
SNMP ステータスを有効にする：チェックを外す
ポート名には、設定した IP アドレスを入力します。初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力してください。
［**OK**］をクリックすると前の画面に戻るので、［**次へ**］をクリックし、［**完了**］をクリックします。

8 ［スタート］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］を開き、［プリンタのインストール］をクリックします。

9 ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。

❗	ここで間違いなくローカルプリンターの追加を選んでください。

10 作成した TCP/IP ポートを選択して［**次へ**］をクリックします。

11 ［**Brother PJ-673**］を選択して［**次へ**］をクリックします。

12 ［**現在インストールされているドライバーを使う（推奨）**］を選択して［**次へ**］をクリックします。

⑬ ［次へ］をクリックします。

メモ

プリンターの共有を選択する画面が現れたら、「共有しない」を選択してください。

⑭ ［プリンタの追加ウィザード］の完了画面が出てきたら［完了］をクリックして画面を閉じます。

⑮ 任意のアプリケーションを使って、本機から印刷ができることを確認します。

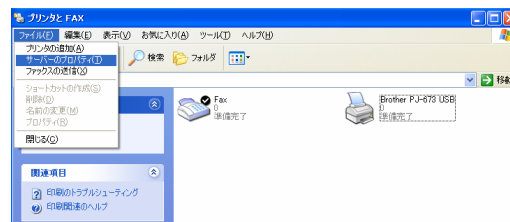
■ 印刷ができなくなったら

本機の電源を切った場合、無線 LAN 接続も切断されるため、再度電源を入れても接続をし直さないと印刷ができません。

本機の電源を入れ、電源ボタンを 3 秒以上長押しして無線 LAN 接続モードにし、Windows® PC の設定（19 ページまたは 31 ページ）から接続をし直してください。

■ Windows ® XP の場合

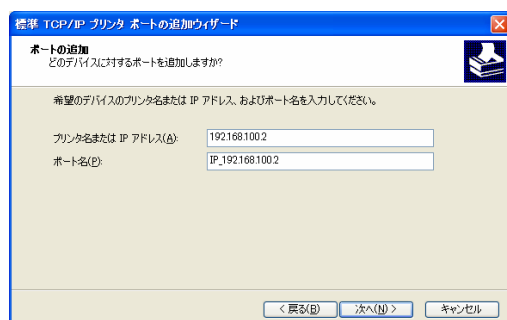
① 管理者アカウントでログオンして、［スタート］-［プリンタと **FAX**］を開きます。

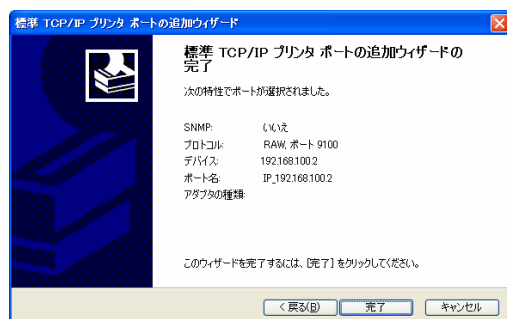
② ファイルメニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

③ ［ポート］タブ内の［ポートの追加］をクリックします。

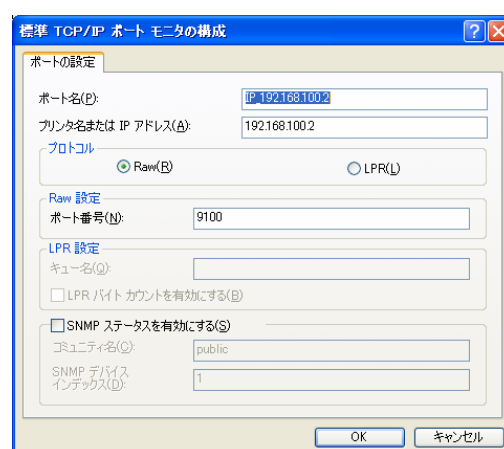
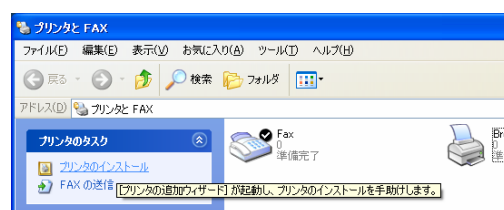
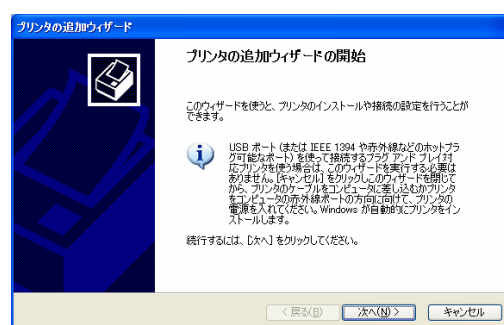
④ ［**Standard TCP/IP Port**］を選択して、［新しいポート］をクリックします。

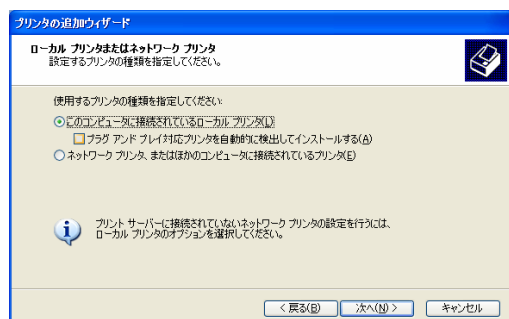
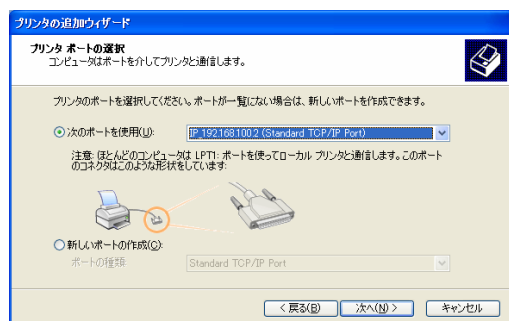
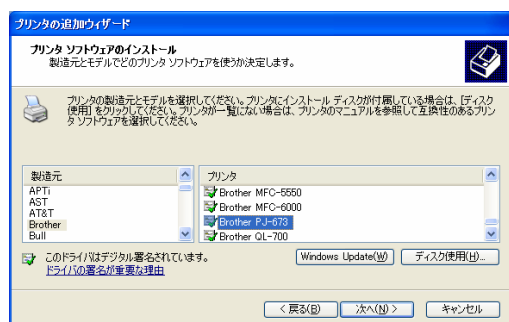
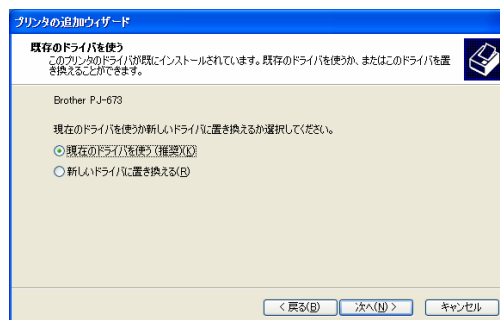
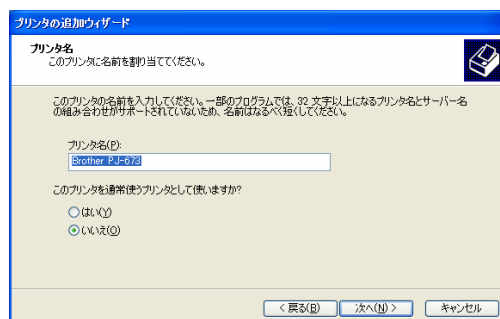
⑤ ［標準 **TCP/IP** プリンタポートの追加ウィザード］画面が表示されます。［次へ］をクリックして、画面の指示に従ってください。

6 ［プリンタ名または **IP** アドレス］欄に IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

メモ

初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力します。設定を変更した場合は、変更した値を入れてください。

7 ポートが自動検出された場合：
［完了］をクリックします。

ポートが自動検出されなかった場合：
［カスタム］を選択して、［設定 **...**］をクリックします。
下記の値を入力し、［**OK**］をクリックします。
プロトコル：Raw
Raw 設定：9100
SNMP ステータスを有効にする：
チェックを外す
ポート名には、設定した IP アドレスを入力します。初期設定をそのまま利用してインストールした場合は、IP アドレスに［**169.254.100.1**］を入力してください。

［**OK**］をクリックすると前の画面に戻るので、［次へ］をクリックし、［完了］をクリックします。

8 ［スタート］-［プリンタと **FAX**］を開き、［プリンタのインストール］をクリックします。

9 ［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。
［次へ］をクリックしてください。

10 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。
［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

	ここで間違いなくローカルプリンタを選んでください。

⑪ 作成した TCP/IP ポートを選択して［次へ］をクリックします。

⑫ ［**Brother PJ-673**］を選択して［次へ］をクリックします。

⑬ ［現在のドライバを使う（推奨）］を選択して［次へ］をクリックします。

⑭ ［次へ］をクリックします。

 メモ

プリンターの共有を選択する画面が現れたら、「共有しない」を選択してください。

⑮ ［プリンタの追加ウィザード］の完了画面が出てきたら［完了］をクリックして画面を閉じます。

⑯ 任意のアプリケーションを使って、本機から印刷ができることを確認します。

■ 印刷ができなくなったら

本機の電源を切った場合、無線 LAN 接続も切断されるため、再度電源を入れても接続をし直さないと印刷ができません。

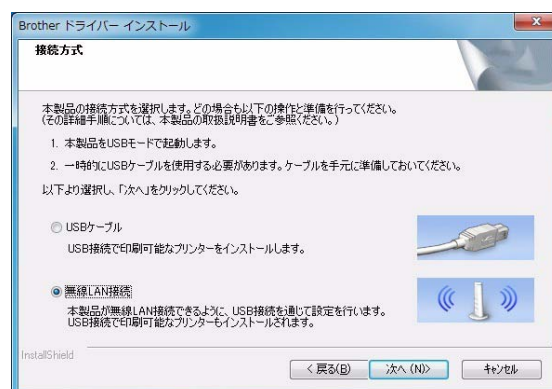
本機の電源を入れ、電源ボタンを 3 秒以上長押しして無線 LAN 接続モードにし、Windows® PC の設定（20 ページまたは 32 ページ）から接続をし直してください。

プリンターの設定
（初期設定を変更する場合）

メモ

- 本機の初期設定を変更するには USB ケーブルが必要ですのでご用意ください。その過程で Windows® PC 上に USB 接続のプリンタードライバーがインストールされます。
- 無線 LAN 接続で使用する場合、本機と Windows® PC の双方で設定が必要です。本機の設定はプリンタードライバーのインストールと合わせて行いますが、Windows® PC 側の設定は手動で行う必要があります。本書の手順に従って設定をしてください。

1. 付属の CD-ROM をお持ちの場合は、付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、表示された画面で［**標準インストール**］ボタンをクリックします。Web 版をダウンロードされた場合は、ダウンロードしたファイルを実行します。
   ［次へ］をクリックします。

2. ［**無線 LAN 接続**］を選択し、［次へ］をクリックします。

3. USB ケーブルで Windows® PC と本機を接続し、本体の電源を入れます。本機がもし無線 LAN 接続モード（無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅）になっている場合は、USB 接続モードに切換えてください。詳しくは、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」（38 ページ）をご覧ください。
   自動で次の画面に進みます。

4. 変更したい値を入力し、［**設定を送信する**］をクリックします。
   設定値を、メモに控えておいてください。

メモ

WEP キーを変更する場合、ASC Ⅱ文字なら 5 文字もしくは 13 文字、16 進数で入力する場合は 10 文字もしくは 26 文字で入力してください。

WLAN 設定は、後で Windows® PC から PJ-673 ユーティリティによって変更することが可能です。詳細は「PJ-673 ユーティリティメニュー」-「4.WLAN 設定」(61 ページ)をご覧ください。

❗	［接続モード］、［認証方式］、［**IP** アドレスの設定］はそれぞれ［アドホック］、［オープンシステム］、［**STATIC**］に固定されて選択することはできません。

SSID	
IP アドレス	
サブネットマスク	
WEP キー	

5 USB ケーブルを外すと、自動で次の画面に進みます。

6 ［閉じる］をクリックします。
これでインストールは完了です。

引き続き、Windows® PC の設定とプリンターの追加を行います。

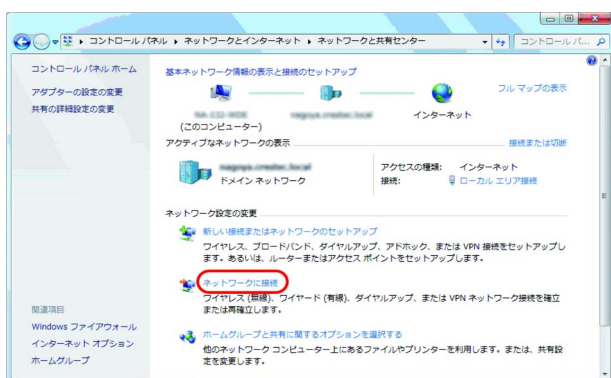
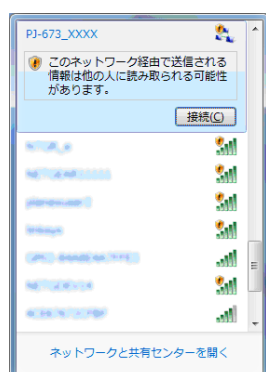
Windows® PC の設定

プリンターの電源を入れ、無線 LAN 接続モードにしておきます。

■ Windows® 7 の場合

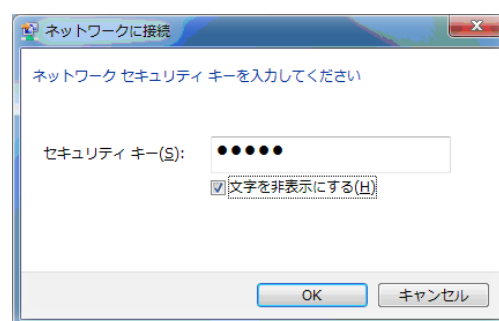
1 ［スタートメニュー］から［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット］の順に選択します。

2 ［ネットワークと共有センター］を クリックします。

3 ［ネットワークに接続］をクリック します。

4 29 ページの、プリンターの設定 （初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした SSID を選択し ［接続］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

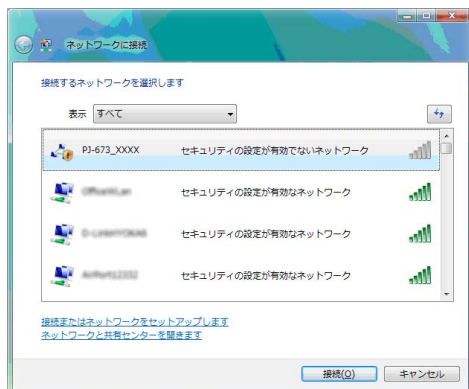
5 本機の設定で暗号化方式を ［**WEP**］に設定した場合は、セキュリティキー入力画面が表示されますので、29 ページの、プリンターの設定（初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした WEP キー （5 文字、または 13 文字の英数字）を入力し ［**OK**］をクリックします。

メモ

本体側の設定で暗号化方式を ［なし］に設定した場合は、この手順は必要ありません。

6 無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN）が点滅から点灯に変わったら、プリンターとの接続は完了です。続いてプリンターの追加（21 ページ）を行ってください。

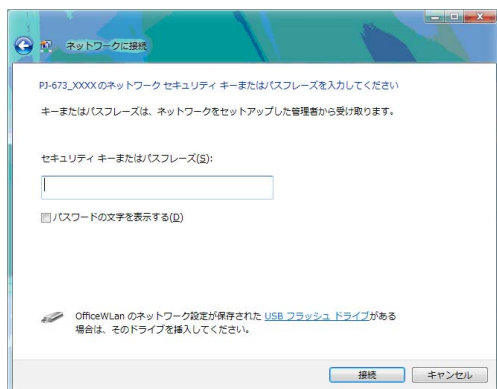
■ Windows Vista® の場合

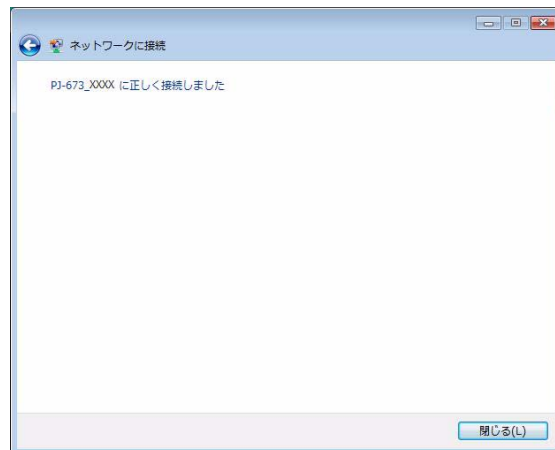
1 ［スタートメニュー］から ［接続先］を選択します。

② ネットワーク接続画面から、29 ページの、プリンターの設定（初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした SSID を選択し ［接続］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

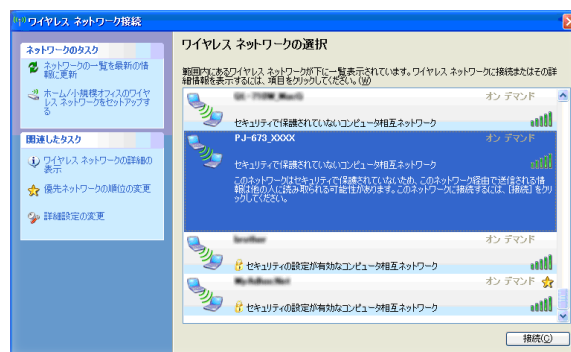
③ セキュリティキーまたはパスフレーズ入力画面が表示されますので、29 ページの、プリンターの設定（初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした WEP キー （5 文字、または 13 文字の英数字）を入力し［接続］をクリックします。

メモ

本体側の設定で暗号化方式を ［なし］に設定した場合は、この手順は必要ありません。

④ ［正しく接続しました］と表示されたら、設定は完了です。［閉じる］をクリックしてください。
続いてプリンターの追加（24 ページ）を行ってください。

■ Windows® XP の場合

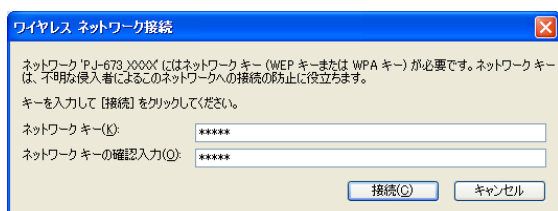
① ［スタートメニュー］から ［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順に選択します。

② ［ワイヤレスネットワーク接続］を選択し、右クリックで ［利用できるワイヤレスネットワークの表示］を選択してください。

③ 現在確認できる SSID の一覧が表示されますので、29 ページの、プリンターの設定（初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした SSID を選択し ［接続］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

4 ネットワークキー入力画面が表示されますので、29 ページの、プリンターの設定（初期設定を変更する場合）の手順 ❹ でメモした WEP キー（5 文字、または 13 文字の英数字）を入力し［**接続**］をクリックします。

メモ

本体側の設定で暗号化方式を［なし］に設定した場合は、この手順は必要ありません。

5 無線 LAN 表示ランプ（WIRELESS LAN) が点滅から点灯に変わったら、プリンターとの接続は完了です。続いてプリンターの追加（26 ページ）を行ってください。

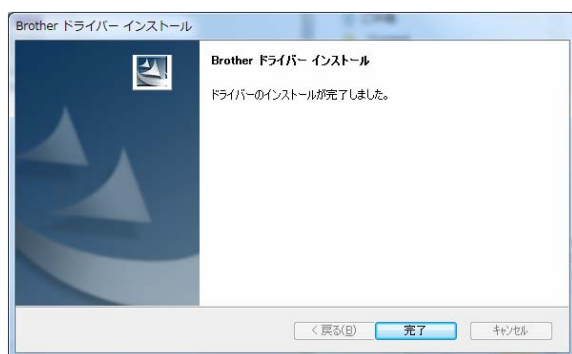
USB で接続して Windows® PC から印刷する場合

プリンターの設定

1 付属の CD-ROM をお持ちの場合は、付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、表示された画面で［**標準インストール**］ボタンをクリックします。Web 版をダウンロードされた場合は、ダウンロードしたファイルを実行します。
［次へ］をクリックします。

2 ［**USB ケーブル**］を選択し、［次へ］をクリックします。

3 USB ケーブルで Windows® PC と本機を接続し、本体の電源を入れます。USB 接続モードになっていることを確認し (38 ページ)、[次へ] をクリックします。

4 ドライバーのインストールが完了しました。

5 任意のアプリケーションを使って、本機から印刷ができることを確認します。

プリンタードライバーをアンインストールする

この操作は本機（PJ-673）からの印刷が不要になった場合、または本機のプリンタードライバーを再度インストールし直す場合のみ、行ってください。

なお、無線 LAN 接続でのインストールを実施した場合、[**Brother PJ-673 USB**] と [**Brother PJ-673**] の両方をアンインストールする必要があります。

■ Windows® 7 の場合

1 本機の電源を切ります。

2 スタートボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

3 [**Brother PJ-673**] または [**Brother PJ-673 USB**] を選択し、[デバイスの削除] をクリック、またはアイコン上で右クリックして [デバイスの削除] を選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、パスワードを入力して [はい] をクリックします。

4 [デバイスとプリンター] 画面で [**FAX**] または [**Microsoft XPS Document Writer**] を選択し、メニューバーに表示された [プリントサーバープロパティ] をクリックします。

5 [ドライバー] タブをクリックして、[ドライバー設定の変更] をクリックします。ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、パスワードを入力して [はい] をクリックします。[**Brother PJ-673**] または [**Brother PJ-673 USB**] を選択して、[削除 **...**] をクリックします。

6 [ドライバーとパッケージを削除する] を選択して、[**OK**] をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

7 [プリントサーバーのプロパティ] 画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

■ Windows Vista® の場合

1 本機の電源を切ります。

2 スタートボタンから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックします。

3. ［**Brother PJ-673**］または［**Brother PJ-673 USB**］を選択し、［**このプリンタを削除**］をクリック、またはアイコン上で右クリックして［**削除**］を選択します。

4. ［プリンタ］画面内で右クリックして、［**管理者として実行**］-［サーバーのプロパティ ...］を選択します。
権限確認画面が表示されたら、［**続行**］をクリックします。
［**ユーザーアカウント制御**］画面が表示されたら、パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。
［プリントサーバーのプロパティ］画面が表示されます。

5. ［ドライバ］タブをクリックして、［**Brother PJ-673**］または［**Brother PJ-673 USB**］を選択し、［**削除 ...**］をクリックします。

6. ［ドライバとパッケージの削除］画面が表示されたら、［**ドライバのみ削除する**］を選択して、［**OK**］をクリックします。

7. ［プリントサーバーのプロパティ］画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

■ Windows® XP の場合

1. 本機の電源を切ります。

2. ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと **FAX**］をクリックします。

3. ［**Brother PJ-673**］または［**Brother PJ-673 USB**］を選択し、［ファイル］-［**削除**］をクリック、またはアイコン上で右クリックして［**削除**］を選択します。

4. ［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。［プリントサーバーのプロパティ］画面が表示されます。

5. ［ドライバ］タブをクリックして、［**Brother PJ-673**］または［**Brother PJ-673 USB**］を選択します。［**削除**］をクリックします。

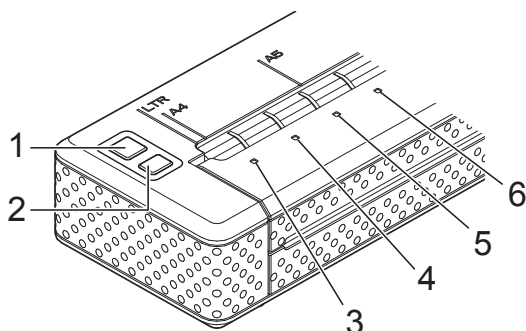
6. ［プリントサーバーのプロパティ］画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

メモ

- 本機のインストーラーは、最初にプリンタードライバーと PJ-673 ユーティリティを同時にインストールします。
- プリンタードライバーをアンインストールしても PJ-673 ユーティリティはアンインストールされません。それぞれ個別にアンインストールしてください。

2 本機を使用する

操作パネル

操作パネルには電源ボタン (⏻)、フィードボタン (↑🗋) ボタンと複数の表示ランプがあります。

1 電源ボタン (⏻)

2 フィードボタン (↑🗋)

3 電源表示ランプ **(POWER)**

4 データ表示ランプ **(DATA)**

5 ステータス表示ランプ **(STATUS)**

6 無線 **LAN** 表示ランプ **(WIRELESS LAN)**

電源ボタンとフィードボタンの機能

電源ボタン (⏻) の機能	操作
電源を入れる	本機の電源が切れている状態で、電源表示ランプ (POWER) が点灯するまで電源ボタン (⏻) を約 1 秒間押します。
電源を切る	電源ボタン (⏻) をすばやく 2 回押します。（PJ-673 ユーティリティで、自動電源オフ機能が設定されている場合は、設定された時間を経過すると自動的に電源が切れます。）
Ni-MH 充電池を充電する	本機の電源が切れた状態で、電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅し始めるまで、電源ボタン (⏻) を 2 秒以上押します。電源表示ランプ (POWER) は、充電が完了するまで点滅し続けます。Ni-MH 充電池の充電方法について詳しくは、「Ni-MH 充電池を充電する」（4 ページ）をご覧ください。 PJ-673 ユーティリティの設定によっては、Ni-MH 充電池のリフレッシュを行った後、充電池の充電が始まる設定があります。詳しくは、「Ni-MH 充電池自動リフレッシュ」（56 ページ）をご覧ください。 電源表示ランプ (POWER) が緑色とオレンジ色に点滅しているときは、充電池に残っている電気を放電して、充電池のリフレッシュを行っています。詳しくは、「Ni-MH 充電池の特性について」（5 ページ）をご覧ください。
Ni-MH 充電池のリフレッシュを行わずに充電する	Ni-MH 充電池のリフレッシュ中に、電源ボタン (⏻) を長く押すと、リフレッシュを中断して、充電を開始します。
Ni-MH 充電池の充電中に電源を切る	電源ボタン (⏻) を 2 回すばやく押します。

メモ

Li-ion 充電池は、これらのボタン機能で操作することはできません。

2

フィードボタン (↑) の機能	操作
手動紙送り（手動用紙排出）をする	本機の電源が入った状態で、用紙がセットされていることを確認し、フィードボタン (↑) を押してください。ボタンが押されている間は、用紙が低速で送られます。 約 13 ミリ用紙送りをしても、フィードボタン (↑) を押し続けると、用紙が高速で送られます。用紙が送られる量は、[**用紙排出モード**] の設定によって異なります。詳しくは、「用紙排出モード」（45、58 ページ）をご覧ください。 本機が受信したデータを確実に印刷するため、データ受信後、約 5 秒間は手動で紙送りができません。
本機の設定情報を印刷する	本機の電源が入った状態で、用紙がセットされていないことを確認し、フィードボタン (↑) を長押しします。データ表示ランプ (DATA) が赤く点灯した後に、用紙をセットすると、本機の設定情報を印刷します。
メンテナンスモードにする	本機の電源を切った状態で、用紙がセットされていないことを確認し、データ表示ランプ (DATA) が赤色に点灯するまで、フィードボタン (↑) を 2 秒以上押してください。 メンテナンスモードは通常は使用しません。元に戻すには、電源ボタン (⏻) を短く 2 回押して電源を切ってください。

表示ランプについて

POWER DATA STATUS WIRELESS LAN

各表示ランプは緑色、赤色、オレンジ色、または青色で点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。詳しくは、「表示ランプ」（65 ページ）をご覧ください。

無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え

接続インターフェイスを無線 LAN から USB へ、または USB から無線 LAN へ変更したい場合は、本機の電源が入った状態で、本機の電源ボタン (⏻) を 3 秒以上押します。無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) の LED が点灯から消灯、または消灯から点灯したことを確認して電源ボタン (⏻) を離してください。3 秒以上押しても無線 LAN 接続モード /USB 接続モードの切換えができないときは、しばらく時間を置いて再度試してください。

工場出荷時は USB 接続モードになっております。

無線 LAN モードで電源を起動した場合、本機の電源を入れてから無線 LAN の機能が有効になるまでに最大 15 秒ほど掛かります。

USB 接続モードで起動中に、無線 LAN 接続モードへ切り替えた場合、無線 LAN の機能が有効になるまでに最大 15 秒ほど掛かります。

USB 接続モードで電源を入れて、直ぐに無線 LAN 接続モードに切り替えても、無線 LAN 接続モードで電源を入れた時と同様に、最大 15 秒ほど掛かります。

iOS デバイスの無線ネットワークを本機以外との接続に変更する

メモ

- アドホックモードでプリンターに接続している間は、インターネットにはつながりません。
- アドホックモードで iOS デバイスがスリープモードになると、本機と iOS デバイスとの接続が切断されます。
- 以下の手順でアドホック無線接続の設定を手動でインフラストラクチャモードに戻すことができます。

iOS デバイスの設定を変更する

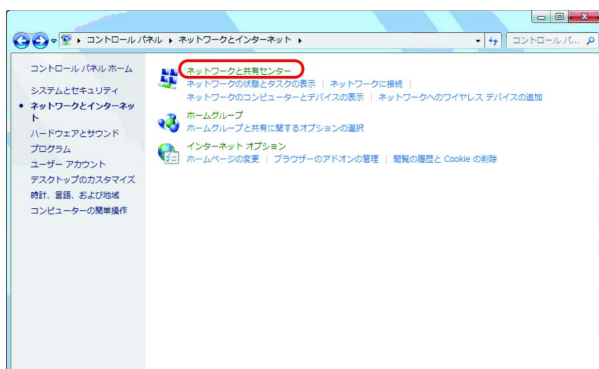
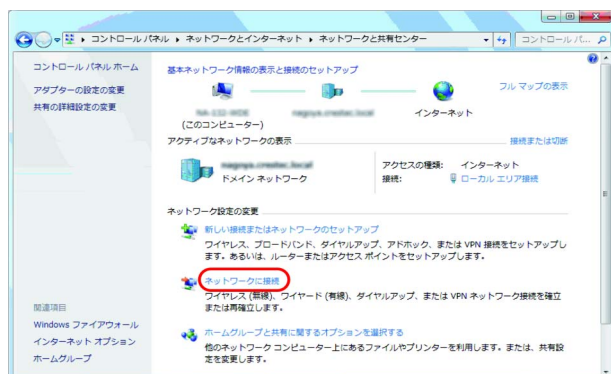
1. iOS デバイスの設定アプリ を起動します。
2. ［**Wi-Fi**］を選択します。

3. 接続可能な Wi-Fi のネットワーク（SSID）の一覧が表示されます。
   普段お使いのネットワーク接続（インフラストラクチャモード）に使用される SSID を選び直します。

Windows® PC の無線ネットワークを本機以外との接続に変更する

■ Windows® 7 の場合

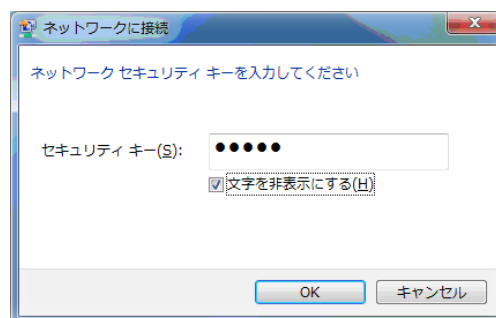
1. ［スタートメニュー］から ［コントロールパネル］- ［ネットワークとインターネット］の順に選択します。

2. ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3. ［ネットワークに接続］をクリックします。

4. 普段お使いのネットワーク接続 (インフラストラクチャモード) に使用される SSID を選択し ［接続］をクリックします。

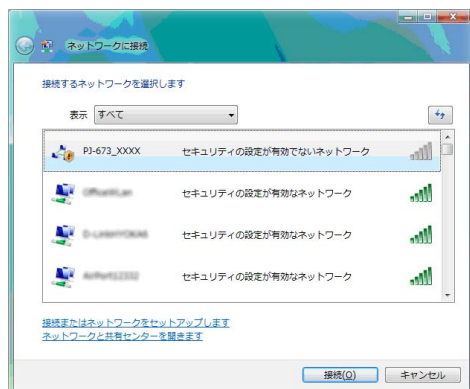
メモ

もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

一覧に普段お使いのネットワーク（SSID）が表示されない場合は、ネットワーク管理者、または無線 LAN サービスの提供元にお尋ねください。

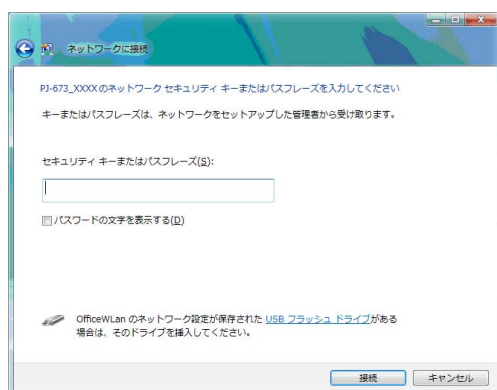
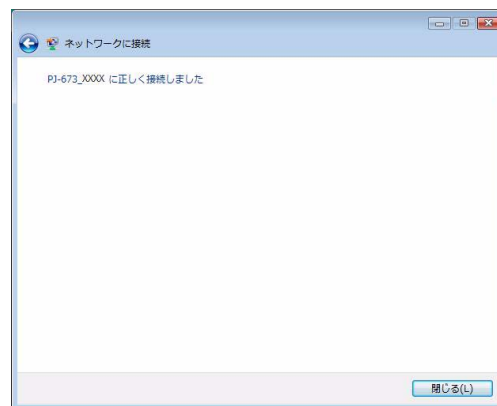
5. 普段お使いの無線LANネットワークに設定されたセキュリティ設定にしたがってセキュリティキーを入力し、接続しなおしてください。
WEP 方式で接続した場合、セキュリティキーは WEP キーのことです。

■ Windows Vista® の場合

1. ［スタートメニュー］から ［接続先］を選択します。

2 ネットワーク接続画面から、普段お使いのネットワーク接続（インフラストラクチャモード）に使用されるSSID を選択し ［**接続**］をクリックします。

メモ

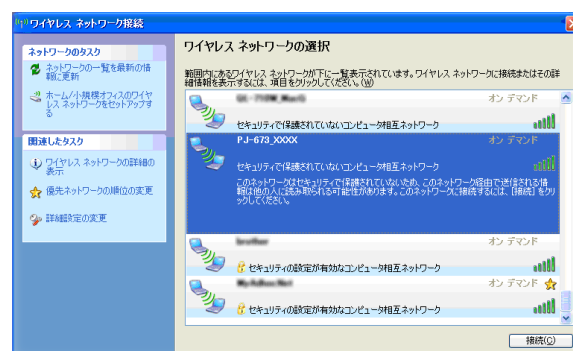
もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

一覧に普段お使いのネットワーク（SSID）が表示されない場合は、ネットワーク管理者、または無線 LAN サービスの提供元にお尋ねください。

3 普段お使いの無線LANネットワークに設定されたセキュリティ設定にしたがってセキュリティキーまたはパスフレーズを入力し、接続しなおしてください。
WEP 方式で接続した場合、セキュリティキーまたはパスフレーズはWEP キーのことです。

4 ［**正しく接続しました**］と表示されたら、設定は完了です。［**閉じる**］をクリックしてください。

■ Windows® XP の場合

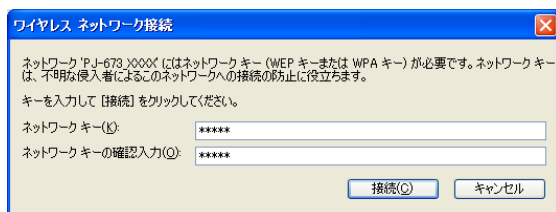
1 ［**スタートメニュー**］から ［**コントロールパネル**］-［**ネットワーク接続**］の順に選択します。

2 ［**ワイヤレスネットワーク接続**］を選択し、右クリックで ［**利用できるワイヤレスネットワークの表示**］を選択してください。

3 現在確認できる SSID の一覧が表示されますので、普段お使いのネットワーク接続（インフラストラクチャモード）に使用される SSID を選択し ［**接続**］をクリックします。

メモ

もし一覧が表示されない場合は、お使いの無線 LAN カードの製造元へお問合せください。無線 LAN 内蔵 PC をお使いの場合は、PC の製造元へお問い合せください。

一覧に普段お使いのネットワーク（SSID）が表示されない場合は、ネットワーク管理者、または無線 LAN サービスの提供元にお尋ねください。

4 普段お使いの無線LANネットワークに設定されたセキュリティ設定にしたがってネットワークキーを入力し、接続しなおしてください。
WEP 方式で接続した場合、ネットワークキーは WEP キーのことです。

印刷について

本機は Windows® や iOS デバイスに対応しています。

Windows® PC から印刷する場合、本機はプリンタードライバーを必要とします。

iOS デバイスから印刷する場合は、弊社が提供する商品やサービスとは別に、ソフトウェア開発企業の作成した印刷ソフトウェアが必要です（弊社からは SDK を提供しています）。iOS デバイス向けの印刷ソフトウェアは、開発企業にご相談ください。

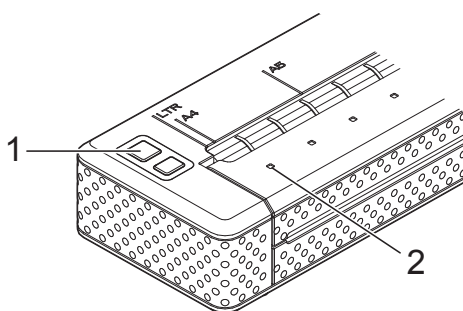
最新のソフトウェアのご案内

各ソフトウェアは、最新版をご使用になることをお勧めします。
ドライバーソフトウェアの最新版はブラザーソリューションセンターのウェブサイト（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードすることができます。

開発者向けの SDK につきましては、開発者ツールサイト（http://www.brother.co.jp/dev/mwprintersdk/index.htm）からダウンロードしてください。

印刷する

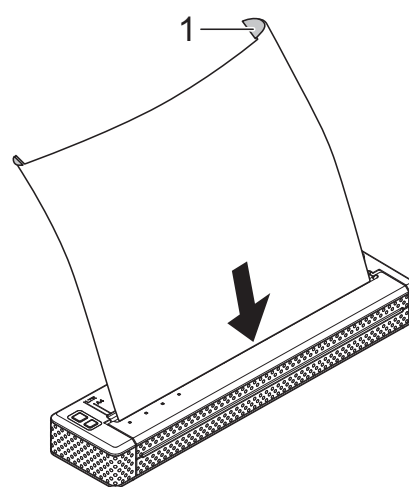
通常の印刷をする場合は、次の手順にしたがってください。

1. 印刷したいデータをコンピューター上に用意してください。
2. 本機の電源を確認します。
(充電された充電池を装着するか、または、アダプターを通じて給電されていることを確認ください。)
3. 電源ボタン (⏻) を押して、本機の電源を入れてください。電源表示ランプ (POWER) が点灯します。

1 **電源ボタン (⏻)**

2 **電源表示ランプ (POWER)**

4. USB または無線 LAN で本機とコンピューターを接続します。
詳しくは、「本機と iOS デバイスを接続する」(11 ページ)、もしくは「本機と Windows® PC を接続する」(16 ページ) をご覧ください。
5. 用紙をセットします。両手で用紙を持ち、本機のローラーに用紙が巻き込まれるまで、用紙挿入口にまっすぐに用紙を挿入します。弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

メモ

- 用紙を挿入するときは、挿入口に対して用紙の下側が平行になるように挿入してください。
- 用紙の印刷できる面は片方のみです。用紙を確認して、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。詳しくは、「用紙について」(48 ページ) をご覧ください。

1 印刷面

6. 必要に応じて、プリンタードライバー (「プリンタードライバーの設定」(44 ページ)) や PJ-673 ユーティリティ (「Brother PJ-673 ユーティリティ」(50 ページ)) で印刷設定を変更してください。
7. コンピューターのアプリケーションメニューから [**印刷**] をクリックします。

   本機がデータを受信すると、データ表示ランプ (DATA) が緑色に点滅し、印刷を開始します。

メモ

- 用紙がセットされている状態で、データ表示ランプ (DATA) が点灯していて暫くたっても印刷が開始されない場合は、印刷するために必要なすべてのデータを受信できなかった可能性があります。一旦電源を切り、再度印刷をやり直してください。この時、電源を入れ直すと無線 LAN の設定が一旦切れますので、ご注意ください。
- 印刷データを送ってから用紙をセットすることもできます。ただし、慣れるまでは、印刷を始める前に、用紙をセットすることをお勧めします。本機に用紙をセットするとき、曲がったり、歪んだ場合は、排紙カバーを一旦開けて、用紙を取り除き、排紙カバーを閉じてください。もう一度、用紙をセットしなおしてください。詳しくは、「紙がつまったときは」（48 ページ）をご覧ください。

印刷濃度の設定について

印刷濃度の設定はプリンタードライバー設定画面（「プリンタードライバーの設定」（44 ページ））および、PJ-673 ユーティリティ（「印字濃度」（58 ページ））で調節することができます。

充電池を使用して印刷を行う場合は、印刷濃度設定によっては、印刷速度や 1 回の充電で印刷できる最大ページ数に影響を与える場合があります。

プリンタードライバーの設定

コンピューターのアプリケーションから印刷するとき、プリンタードライバーで印刷に関する様々な設定を変更することができます。

用紙種類

設定項目：[カット紙]、[ロール紙]、[ミシン目ロール紙]、[ミシン目入りロール紙／頭出し]

初期設定：[カット紙]

本機にセットした用紙種類を設定してください。

濃度

設定項目：[**0**] ～ [**10**]、
[プリンタ本体の設定値] ※

初期設定：[**6**] ※

印刷濃度を設定します。印刷された文書の明暗に影響します。低い値は薄く、高い数値は濃く印刷されます。

※

[プリンタ本体の設定値] は、工場出荷時の値（[**6**]）、または、Brother PJ-673 ユーティリティで設定した値です。

印刷濃度を濃く設定すると、充電池の消耗が早くなりますが、はっきりと印刷されるため、見やすい印刷物となります。充電池の消耗を節約したい場合は、低い値を設定してください。

メディア

設定項目：[**感熱紙**]、[**感熱複写紙**]

初期設定：[**感熱紙**]

複写式の用紙をセットした場合は、この設定を使用してください。[**感熱複写紙**] を選択した場合は、[**濃度**] を 10 にセットした場合よりも、濃く（そしてゆっくり）印刷します。

用紙排出モード

設定項目：[フィードなし]、[**用紙固定**]、[**用紙終端**]、[**用紙終端／頭出し**]

初期設定：[**用紙固定**]

印刷終了後に、どのように用紙を排出させるかを設定します。

- フィードなし-印刷が終了しても用紙送りをしません。文書が終わっても用紙送りされないので、ミシン目のないロール紙を使用するときに設定すると、続けて印刷が可能です。
- **用紙固定**-印刷が終了すると選択された用紙サイズ（レター、リーガル、A4 またはユーザー設定サイズ）に合わせて、用紙送りをします。カット紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端**-印刷が終了すると用紙を全て排出するまで、または最大で 355.6mm（14 インチ）まで用紙送りをします。ミシン目ロール紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端／頭出し** - 印刷が完了すると、あらかじめ用紙に印刷されているエンドマークまたは用紙の終端をセンサーが感知するまで用紙送りをします。[**用紙種類**] が [ミシン目入りロール紙／頭出し] の場合に設定してください。

紙送り量（フィードなし時）

設定項目：[なし]、[**1/2** インチ（**12.7 mm**）]、[**1** インチ（**25.4 mm**）]、[**1-1/2** インチ（**38.1 mm**）]、[**2** インチ（**50.8 mm**）]

初期設定：[**1** インチ（**25.4 mm**）]

[用紙排出モード] を [フィードなし] に設定した場合に使用します。文書の最後のページを印刷したあとで、この設定値分を用紙送りします。

メモ

この設定は、文書の最後のページにのみ適用されます。コンピューターのアプリケーションによって設定された下余白は適用されません。上余白は、複数ページの文書のページ間で、全体の上余白と下余白が決定されます。

ロール紙カットモード

設定項目：[**無効**]、[有効]

初期設定：[**無効**]

[有効] に設定すると、ロール紙に印刷するときに、印刷するページごとに用紙確認のダイアログを表示します。

ミシン目印字

設定項目：[**無効**]、[有効]

初期設定：[**無効**]

ロール紙を使用する場合に、ページとページの間にミシン目調の横仕切り線を印刷することができます。[**用紙排出モード**] を [**用紙固定**] に設定してから、[**有効**] にします。この機能は、用紙にミシン目調の横仕切り線を印刷するもので、ミシン目をあけることはできません。

コマンドモード自動切換え

設定項目：[無効]、[**有効**]

初期設定：[**有効**]

本機を使用中に、コマンドの種類が変更されたとき、自動的にその使用コマンドに切換えて対応するかどうかを設定します。

カスタム用紙の給紙位置

設定項目：[**中央**]、[左寄せ]

初期設定：[**中央**]

カスタム用紙に印刷するとき、用紙の給紙位置を指定します。

用紙サイズの設定

あらかじめ用意されている用紙サイズ（レター、リーガル、A4 など）を使用する場合は、用紙設定ダイアログの用紙サイズから選択してください。

ご希望の用紙サイズがない場合は、次の手順で用紙サイズを設定して追加することができます。

■ Windows® 7 の場合

1. スタートボタンから［**デバイスとプリンター**］をクリックします。
2. ［**Brother PJ-673**］を選択して、［**プリントサーバープロパティ**］をクリックします。
3. ［**用紙**］タブをクリックして、［**用紙設定の変更**］をクリックします。
［**ユーザーアカウント制御**］画面が表示されたら、パスワードを入力して［**はい**］をクリックします。
4. ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

■ Windows Vista® の場合

1. ［**コントロールパネル**］-［**ハードウェアとサウンド**］-［**プリンタ**］をクリックします。
2. 何も選択していない状態で、［**プリンタ**］画面内で右クリックして、［**管理者として実行 ...**］-［**サーバーのプロパティ**］を選択します。
権限確認画面が表示されたら、［**続行**］をクリックします。［**ユーザーアカウント制御**］画面が表示されたら、パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。
3. ［**用紙**］タブをクリックして、ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

■ Windows® XP の場合

1. ［**コントロールパネル**］-［**プリンタとその他のハードウェア**］-［**プリンタと FAX**］をクリックします。
2. 何も選択していない状態で、［**プリンタと FAX**］画面内で右クリックして、［**サーバーのプロパティ**］を選択します。［**サーバーのプロパティ**］画面が表示されます。
3. ［**用紙**］タブをクリックして、ご希望の用紙サイズなどを設定し、用紙サイズを追加してください。

メモ

あらかじめ用意されている用紙サイズ（レター、リーガル、A4 など）と同じサイズの用紙は、設定できても、規定の情報が優先されるため、ご利用頂くことができません。

用紙種類の選択

用紙サイズは、[カット紙]、[ロール紙]、[ミシン目ロール紙]、[ミシン目入りロール紙／頭出し]から選択します。

カット紙

カット紙を使用する場合は、プリンタードライバーを次のように設定します。

1. ご希望の用紙サイズ（レター、リーガル、A4）を選択します。
2. [用紙種類]を[カット紙]に設定します。
3. [用紙排出モード]を[用紙固定]に設定します。

ロール紙（ミシン目なし）

ミシン目なしのロール紙を使用する場合は、ご希望の用紙の長さによってプリンタードライバーを次のように設定します。

お好みの用紙サイズで使用する（用紙節約）

ロール紙をお好みの用紙サイズで使用する場合に設定します。この場合は、選ばれた用紙サイズでページごとの最大行数が決まります。

1. ご希望の用紙サイズを選択します。
   レター、リーガル、A4
2. [用紙種類]を[ロール紙]に設定します。
3. [用紙排出モード]を[フィードなし]に設定します。
4. [紙送り量（フィードなし時）]でご希望の数値を設定します。文書の最後のページを印刷したあとで、この設定値分を用紙送りします。

メモ

ロール紙をお使いの場合、[用紙排出モード]を[フィードなし]に設定し、かつ[紙送り量（フィードなし時）]を[なし]に設定しても、ローラーの調整のために、印刷の切れ目でわずかに排紙します。

ミシン目入りロール紙

ミシン目ロール紙を使用する場合は、プリンタードライバーを次のように設定します。

1. ご希望の用紙サイズを選択します。
   レター、リーガル、A4
2. [用紙種類]を[ミシン目ロール紙]または[ミシン目入りロール紙／頭出し]に設定します。
3. [用紙排出モード]を[用紙終端]または「用紙終端／頭出し]に設定します。
   [ミシン目ロール紙]を選択した場合は、ページ間で頭出し（用紙送り）をしません。どの用紙サイズ（カスタムサイズを含む）でも印刷領域はカット紙の場合より狭くなります。
   [ミシン目入りロール紙／頭出し]を選択した場合は、ページ間で頭出し（用紙送り）をします。印刷領域はカット紙の場合と同じです。

用紙について

弊社純正の感熱紙を使う

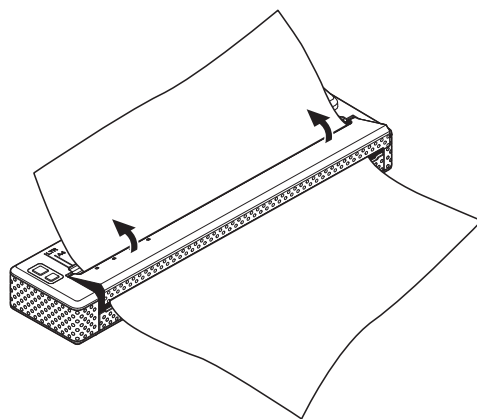
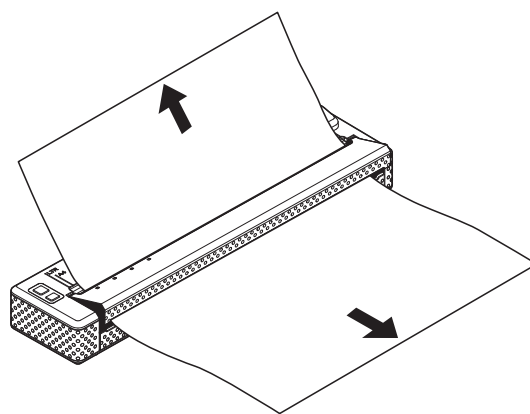
感熱紙は、トナー、リボンまたはインクなどを使用することなく、印刷することが可能です。弊社純正の感熱紙は、PocketJet 用で、本機との適用性に優れています。弊社純正の感熱紙をご使用になることをお勧めします。
純正品以外のご使用は、印字品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
(純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。)

用紙の使用と取扱いについて

- 用紙の印刷できる面は片方のみです。用紙を確認して、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。
- 用紙にしわや破れができないように、ご使用になるまで箱などに入れて保管してください。
- 折りたたんだり、折り目をつけたり、しわになった用紙は使用しないでください。
- 用紙は、高温多湿を避けて保管してください。
- 用紙は、直射日光のあたる場所へ長時間放置しないでください。
- ジアゾ（青焼き）、カーボンレス、キャストコート用紙と密着させないでください。
- ビニールやアセテート素材（例えばノートやレポート用紙カバーなど）と密着させないでください。
- 有機溶剤、油、アンモニアと密着させないでください。
- 筆記具で書き込む場合は、必ず水性の筆記具をご使用ください。油性のものを使用すると、用紙が変色することがあります。

紙がつまったときは

紙がつまったときは、次の手順で紙を取り除いてください。

1. 排紙カバーを開けます。

2. 取り出しやすい方向に、静かに用紙をひっぱり、本機から抜きます。

3. 排紙カバーを閉めます。
4. 新しい用紙をセットして、もう一度、印刷します。

ロール紙をカットするには

ロール紙は、本機のティアバーを使用して切り取ることができます。排出された用紙の片側を持って、反対側へ斜め上に引っ張ります。

	ティアバーには直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

3 Brother PJ-673 ユーティリティ

概要

Brother PJ-673 ユーティリティ（以下単に「PJ-673 ユーティリティ」）は、プリンターの初期設定値を変更することができるプログラムです。

	PJ-673 ユーティリティの設定はプリンターが待機状態のときに行ってください。プリンター動作中に設定を行うと誤動作の原因となります。

PJ-673 ユーティリティのインストール

Brother PJ-673 ユーティリティがインストールされていない場合は、以下の手順で先にインストールを行なってください。

1. 付属のCD-ROMがある場合はCD-ROMから、なければ弊社ソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしてください。
2. 「USB で接続して Windows® PC から印刷する場合」（33 ページ）を参考にして、PJ-673 プリンタードライバーをインストールします。
   Brother PJ-673 ユーティリティは、プリンタードライバーと一緒にインストールされます。

PJ-673 ユーティリティのアンインストール

この操作は本機（PJ-673) からの印刷が不要になった場合、または本機のプリンタードライバーを再度インストールし直す場合のみ、行なってください。

メモ

プリンタードライバーをアンインストールすると、PJ-673 ユーティリティは使用できなくなります。

1. Windows® 7/ Windows Vista® :
   スタートボタンから［コントロールパネル］-［プログラム］-［プログラムと機能］をクリックします。［プログラムのアンインストールまたは変更］画面が表示されます。
   Windows® XP:
   ［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］をクリックします。［プログラムの追加と削除］画面が表示されます。
2. Windows® 7/ Windows Vista® :
   ［**Brother PJ-673** ユーティリティ］を選択し、［アンインストール］をクリックします。
   Windows® XP:
   ［**Brother PJ-673** ユーティリティ］を選択し、［削除］をクリックします。
3. ［はい］または［許可］をクリックします。
   ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら、［許可］をクリックします。
   パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力し、［はい］をクリックします。アンインストールが開始されます。

4 ［プログラムのアンインストールまたは変更］(Windows® 7/ Windows Vista®) ／［プログラムの追加と削除］（Windows® XP）画面を閉じます。PJ-673 ユーティリティのアンインストールが完了しました。

メモ

PJ-673 ユーティリティをアンインストールしても、プリンタードライバーはアンインストールされません。それぞれ個別にアンインストールしてください。

PJ-673 ユーティリティを使用する

PJ-673 ユーティリティをお使いになる前に

- プリンターを、AC アダプターで電源コンセントに接続してください。
- プリンタードライバーがインストールされていて、使用できる状態であることを確認してください。
- プリンターと Windows® PC を USB ケーブルで接続し、プリンターの電源をオンにしてから USB 接続モードにしてください。

PJ-673 ユーティリティを起動する

- ユーティリティの設定値をプリンターに転送するには、Windows® PC と USB ケーブルが必要です。
- PJ-673 ユーティリティは USB 接続のみ使用可能です。無線 LAN 接続では使用できませんので、ご注意下さい。

PJ-673 ユーティリティを起動するには、スタートボタンから［すべてのプログラム］-［**Brother PocketJet**］-［**Brother PJ-673 ユーティリティ**］の順にクリックします。

PJ-673 ユーティリティの使いかた

1. PJ-673 ユーティリティのメイン画面で、設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。
2. プルダウンリストからご希望の設定を選択、または数値を入力します。
3. ［**設定を送信する**］をクリックして、プリンターに設定を送信します。

メモ

いくつかの項目は、プリンタードライバー設定画面と PJ-673 ユーティリティのどちらでも設定することができます。次の項目は、プリンタードライバー設定画面での設定が優先されます。

［**用紙サイズ**］
［**濃度**］（［**印字濃度**］）
［**用紙排出モード**］
［**ミシン目印字**］

プリンタードライバーで設定した内容は、その後の印刷に適用されます。プリンターの電源を切るまで、設定は記憶されます。

電源を切り、もう一度、プリンターの電源を入れると、PJ-673 ユーティリティでの設定値に戻ります。

設定項目

メモ

- 通常は PJ-673 ユーティリティの設定を変更する必要はありません。コンピューターにプリンタードライバーをインストールしないで、簡単なテキストデータなどを印刷する場合に使用します。
- 設定項目（自動電源オン、自動電源オフ、プレフィードを含む）は、全ての OS に共通です。

設定項目の変更

1 プリンター
コンピューターに接続しているプリンターのリストを表示します。PJ-673 ユーティリティを使用する場合は、設定を変更したいプリンターをこのリストから選択します。

メモ

プリンターのリストには USB ポートのプリンターだけ列挙されます。ネットワークポートのプリンターは列挙されませんので、ご注意下さい。

2 リストを更新
このボタンをクリックすると、プリンターリストが更新されます。PJ-673 ユーティリティを起動したあとでプリンターを追加したり、電源を入れた場合は、このボタンをクリックします。追加したプリンターが［プリンター］に表示され、選択することができます。

3 インポート
エクスポート機能を使用して作成された構成ファイルを取り込みます。

メモ

インポート機能を使用して、エクスポート機能により保存した構成ファイルを読み込むことで、保存した時の選択肢などを画面表示に反映することができます。

4 エクスポート
現在の設定を構成ファイルとして保存します。

メモ

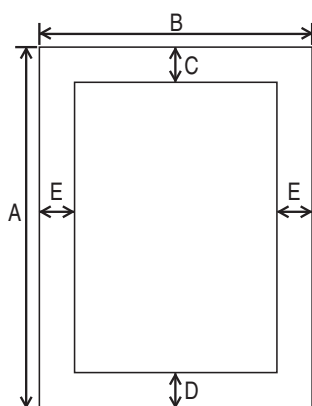
「SSID」、「WEP キー」など「WLAN 設定」で設定した無線 LAN 設定の情報は、構成ファイルとして保存されません。

用紙サイズの設定

1 用紙サイズ

設定項目：[レター]、[リーガル]、[**A4**]、[カスタム]

初期設定：[レター]

この項目は、初期用紙サイズを設定します。標準的な用紙サイズの場合は、以下に示すように余白が設定されており、印刷領域も決められています。

(数値は mm（インチ))

用紙サイズ	A	B	C	D	E
レター	279 (11)	216 (8-1/2)	2.5 (0.10)	5.8 (0.23)	4.3 (0.17)
リーガル	356 (14)	216 (8-1/2)	2.5 (0.10)	5.8 (0.23)	4.3 (0.17)
A4	297 (11.69)	210 (8.27)	2.5 (0.10)	15 (0.59)	3.3 (0.13)

[カスタム] を選択した場合は、次の項目でページの仕様を設定します。

[行単位ページ長]
[下余白設定]
[左余白設定]
[右余白設定]

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

2 行単位ページ長

[改行量] の設定値によって、設定できる数値が変更します。

設定項目	行	インチ
[6 行 / インチ]	6-127	1.00-21.16
[8 行 / インチ (0.125")] または [8 行 / インチ (0.12")]	8-127	1.00-15.87

初期設定：[行] (6)

[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合のみ設定が可能です。

用紙の長さは、行数またはインチで決まります。

- 行 - ページの長さ (すなわちページの高さ) は、ここで指定する 1 ページの行数と各行間の高さ ([改行量] の設定) で決まります。
- インチ - ページの長さはインチで決まります。

設定 ([行]、[インチ]) を変更すると、PJ-673 ユーティリティは、各数値を自動的に再計算します。

3 下余白設定

［**改行量**］の設定値によって、設定できる数値が変更します。

設定項目	行
［6 行 / インチ］	3-126
［8 行 / インチ （0.125"）］または ［8 行 / インチ （0.12"）］	4-126

初期設定：［**行**］（3）

［**用紙サイズ**］を［**カスタム**］に設定している場合のみ設定が可能です。

下余白は、テキストの行数で表示されます。たとえば、［**下余白設定**］を 6 行に設定し、［**改行量**］を 6 行 / インチに設定した場合、実際の下余白の高さは 1 インチ（25.4 mm）になります。

下余白の最小値は 0.5 インチ（12.7 mm）です。
たとえば、［**改行量**］を 6 行 / インチに設定した場合は、［**下余白設定**］は少なくとも 3 行に設定してください。

設定できる最大行数は、［**行単位ページ長**］で設定された行数よりマイナス 1 行まででです。

4 改行量

設定項目：［**6 行 / インチ**］、［**8 行 / インチ（0.125"）**］、［**8 行 / インチ（0.12"）**］

初期設定：［**6 行 / インチ**］

各行間の高さを設定します。
グラフィック文字を印刷するために［**拡張文字**］を［**拡張グラフィック**］に設定した場合は、グラフィック文字高さが 0.12 インチ（3.1mm）なので、［**8 行 / インチ（0.12"）**］に設定することをお勧めします。

5 左余白設定

設定項目：［**用紙の設定**］、［**列**］（列数を指定）

初期設定：［**用紙の設定**］

- **用紙の設定** - 用紙サイズによってあらかじめ設定されている余白値（印刷可能幅の 8 インチ（203.2 mm）が規定されている）を使用します。
- **列** - 左余白は設定される列数の幅によって増やされた列数（ここで設定した）と等しいです。各列幅は、［**文字ピッチ**］によって決まります。たとえば、［**左余白設定**］を 12 に設定して、［**文字ピッチ**］を［**12 文字 / インチ**］に設定した場合、実際の左余白は 1 インチ（25.4 mm）になります。［**文字ピッチ**］を［**プロポーショナル**］に設定した場合は、10 文字 / インチで計算されます。

左余白の最大幅は、4.5 インチ（114.3 mm）です。

6 右余白設定

設定項目：［**用紙の設定**］、［**列**］（列数を指定）

初期設定：［**用紙の設定**］

- **用紙の設定** - 用紙サイズによってあらかじめ設定されている余白値（印刷可能幅の 8 インチ（203.2 mm）が規定されている）を使用します。
- **列** - 右余白は設定される列数の幅によって増やされた列数（ここで設定した）と等しいです。各列幅は、［**文字ピッチ**］によって決まります。たとえば、［**右余白設定**］を 12 に設定して、［**文字ピッチ**］を［**12 文字 / インチ**］に設定した場合、実際の左余白は 1 インチ（25.4 mm）になります。［**文字ピッチ**］を［**プロポーショナル**］に設定した場合は、10 文字 / インチで計算されます。

右余白の最大幅は、印刷できる可能幅（左右余白を除いた幅）の 0.2 インチ（5.08 mm）に設定されます。

7 文字ピッチ

設定項目：［**10 文字 / インチ**］、［**12 文字 / インチ**］、［**15 文字 / インチ**］、［**プロポーショナル**］

初期設定：［**12 文字 / インチ**］

この項目は、文字ピッチを設定します。10、12 または 15 文字 / インチのどれを選択しても、文字幅は変わりません。たとえば、「w」と「i」は、同じ幅になります。［**プロポーショナル**］を設定した場合は、文字幅は文字によって異なります。たとえば、「w」は、「i」より横幅が広くなります。［**文字ピッチ**］の設定は、左右の余白幅に影響します。

電源とロール紙選択の設定

1 自動電源オン: 無効
2 自動電源オフ(AC/DC/Li-ion): なし
3 自動電源オフ(Ni-MH): 10分
4 Ni-MH充電池自動リフレッシュ: リフレッシュなし
5 ミシン目スキップ: 無効
6 ミシン目印字: 無効

1 自動電源オン

設定項目：[**無効**]、[**有効**]、[**有効（電源ボタンオフ禁止）**]

初期設定：[**無効**]

この項目は、プリンターを電源コンセントに接続しているとき、プリンターがどのように対応するかを設定します。

- **無効** - プリンターは、最小電力を使用するスリープモードに入ります。スリープモードを解除してプリンターの電源を入れるには、電源ボタン（⏻）を押します。
- **有効** - 電源コンセントに接続すると、プリンターの電源が自動的に入ります。これは 電源ボタン（⏻）を押しにくい状況の場合に使用します。
- **有効（電源ボタンオフ禁止）** - 電源コンセントに接続すると、プリンターの電源が自動的に入ります。また、電源ボタン (⏻) を押しても、プリンターの電源を切ることはできません。これは、誤って電源ボタン (⏻) を押してしまい、プリンターの電源を切ってしまうことを防ぎます。プリンターの電源を切るには、電源コンセントからプリンターを抜いてください。

2 自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）

設定項目：[なし]、[**10** 分]、[**20** 分]、[**30** 分]、[**40** 分]、[**50** 分]、[**60** 分]

初期設定：[なし]

この設定は、プリンターが AC 電源、DC 電源または Li-ion 充電池からの電源供給で使用している場合に、電気節約のため、プリンターの電源を自動的に切る時間を設定します。
設定した時間内にデータの受信がない場合、プリンターの電源を自動的に切ります。

3 自動電源オフ（Ni-MH）

設定項目：[なし]、[**10** 分]、[**20** 分]、[**30** 分]、[**40** 分]、[**50** 分]、[**60** 分]

初期設定：[**10** 分]

この設定は、プリンターが Ni-MH 充電池からの電源供給のみで使用している場合に、電気節約のため、プリンターの電源を自動的に切る時間を設定します。

設定した時間内にデータの受信がない場合、プリンターの電源を自動的に切ります。

プリンターに Ni-MH 充電池が装着された状態で AC 電源または DC 電源とも接続されている場合は、[**自動電源オフ（AC/DC/Li-ion）**]の設定が優先されます。

4 Ni-MH 充電池自動リフレッシュ

設定項目：[リフレッシュなし]、[**毎回**]、[**5 回ごと**]、[**10 回ごと**]

初期設定：[リフレッシュなし]

この設定は、Ni-MH 充電池を充電するときに、リフレッシュを行う頻度を設定します。例えば、[**5 回ごと**] に設定した場合は、充電を 5 回行うごとに 1 回リフレッシュを行います。

Ni-MH 充電池のリフレッシュと充電について詳しくは、「Ni-MH 充電池を充電する」（4 ページ）をご覧ください。

5 ミシン目スキップ

設定項目：[**無効**]、[**有効**]

初期設定：[**無効**]

この設定は、用紙サイズの境目を挟んで、下余白と上余白を合わせて、25.4 mm（1 インチ）にします。ミシン目入りロール紙に印刷するとき、ミシン目上に印刷されないように設定します。

6 ミシン目印字

設定項目：[**無効**]、[**有効**]

初期設定：[**無効**]

ロール紙を使用する場合に、ページとページの間にミシン目調の横仕切り線を印刷することができます。[**用紙排出モード**] を [**用紙固定**] に設定してから、[**有効**] にします。この機能は、用紙にミシン目調の横仕切り線を印刷するもので、ミシン目をあけることはできません。

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

印刷濃度とその他の設定

1 印字濃度

設定項目：［**0**］ ～ ［**10**］

初期設定：［**6**］

印刷濃度を設定します。印刷された文書の明暗に影響します。低い値は薄く、高い数値は濃く印刷されます。

印刷濃度を濃く設定すると、充電池の消耗が早くなりますが、はっきりと印刷されるため、見やすい印刷物となります。充電池の消耗を節約したい場合は、低い値を設定してください。

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

2 用紙排出モード

設定項目：［**長さ指定**］、［**用紙固定**］、［**用紙終端**］、［**用紙終端／頭出し**］

初期設定：［**用紙固定**］

印刷終了後に、用紙をどのように排出するかを設定します。プリンターが受信したどのようなデータに対しても、どのように用紙を排出させるかを設定します。

- **長さ指定** - 印刷が終了しても用紙送りをしません。文書が終わっても用紙送りされないので、ミシン目のないロール紙を使用するときに設定すると、続けて印刷が可能です。
- **用紙固定** - 印刷が終了すると選択された用紙サイズ（レター、リーガル、A4 またはユーザー設定サイズ）に合わせて、用紙送りをします。カット紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端** - 印刷が終了すると用紙を全て排出するまで、または最大で 355.6 mm（14 インチ）まで用紙送りをします。ミシン目ロール紙を使用するときに設定してください。
- **用紙終端／頭出し** - 印刷が完了すると、あらかじめ用紙に印刷されている用紙のエンドマークまたは用紙の終端をセンサーが感知するまで用紙送りをします。［**用紙種類**］が［**ミシン目ロール紙／頭出し**］の場合に設定してください。

メモ

この設定をプリンタードライバーで変更すると、その設定値が優先されます。

3 プレフィード

設定項目：［**無効**］、［**有効**］

初期設定：［**無効**］

［**有効**］を選択した場合は、プリンターの電源を入れると、短く用紙送りをします。ミシン目入りロール紙または、あらかじめ印刷されたロール紙を使用する場合は、［**無効**］に設定することをお勧めします。

4 改行コード動作設定

設定項目：［**LF=LF CR=CR**］、［**LF=CR+LF CR=CR+LF**］

初期設定：［**LF=LF CR=CR**］

この設定は、LF コマンドと CR コマンド（アスキー文字 10 と 13）を受信した場合のプリンターの対応を設定します。初期値では、LF（ラインフィード）は、印字ヘッドが次の行に進み、CR（キャリッジリターン）は、印字ヘッドが左余白へ戻ります。

デバイスからプリンターにデータを送信するとき、印字ヘッドを次の行（LF コマンド）の左余白（CR コマンド）へ移動させるために、行の終わりに LF コマンドと CR コマンドの両方を送信しますが、デバイスによっては、どちらか 1 つのコマンドしか送信しない場合があります。その場合でも、プリンターには、2 つのコマンドを受信したように対応させるために、お使いのデバイスが LF コマンドまたは CR コマンドのどちらか 1 つしか送信しない場合は、［**LF=CR+LF CR=CR+LF**］を選択してください。

5 紙センサー閾値

設定項目：数値を設定（0 ～ 255）

初期設定：［**128**］

紙センサーの閾値を設定します。

内蔵フォントの設定

1 拡張文字

設定項目：[イタリック]、[拡張グラフィック]、[カタカナ]

初期設定：[拡張グラフィック]

この設定は、アスキー文字 128 ～ 255 を印刷するとき、どの文字を使用するか設定します。[イタリック] を選択した場合は、アスキー文字 32 ～ 127 のイタリック版が使用されます。[拡張グラフィック] を選択した場合は、78 ページの表に示される文字が使用されます。

2 国際文字

設定項目：[**USA**]、[**France**]、[**Germany**]、[**United Kingdom**]、[**Denmark I**]、[**Sweden**]、[**Italy**]、[**Spain I**]、[**Japan**]、[**Norway**]、[**Denmark II**]、[**Spain II**]、[**Latin America**]、[**Korea**]、[**Legal**]

初期設定：[**USA**]

この項目は、使用する文字セットを設定します。適切な言語を選択すると、特殊文字を印刷することができます。詳しくは、80 ページの表をご覧ください。

3 既定のフォント

設定項目：[明朝]、[ゴシック]

初期設定：[明朝]

使用するフォントを設定します。英文は [明朝] を選んだ場合は「Roman」、[ゴシック] の場合は「Sans Serif」になります。

4 フォント縮小

設定項目：[無効]、[有効]

初期設定：[無効]

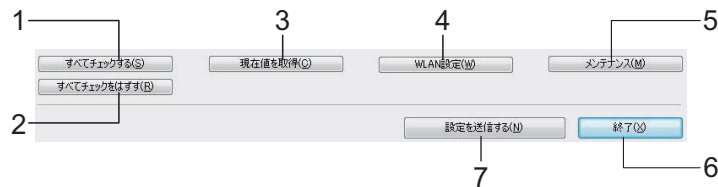
この設定は、文字を縮小して印刷するかどうかを設定します。[文字ピッチ] の設定によって、効果が異なります。各設定の効果は次のようになります。

文字ピッチ	縮小サイズ
10 文字 / インチ	16.67 文字 / インチ
12 文字 / インチ	20 文字 / インチ
プロポーショナル	文字幅を半分にする
15 文字 / インチ	変更無し

5 フォント属性

設定項目：[強調]、[倍角]、[下線]

この項目は、印刷するテキストの文字の属性を設定します。

PJ-673 ユーティリティメニュー

1 すべてチェックする

［すべてチェックする］をクリックすると、PJ-673 ユーティリティのチェックボックスのすべてにチェックが入ります。

2 すべてチェックをはずす

［すべてチェックをはずす］をクリックすると、PJ-673 ユーティリティのチェックボックスに入っているすべてのチェックが外れます。

3 現在値を取得

［現在値を取得］をクリックすると、［プリンター］で選択しているプリンターの設定情報を取得します。

4 WLAN 設定

［**WLAN 設定**］で無線 LAN の設定をすることができます。

[WLAN 設定] をクリックすると、接続されているプリンターの現在値を取得し、画面に反映します。現在値の取得に失敗した場合はダイアログが表示されません。

■ **MAC アドレス表示**

現在接続されているプリンターの MAC アドレスを表示します。

■ **接続モード**

接続モードを指定します。すでにアドホックが選択された状態になっています。

■ **SSID（ネットワーク名）**

SSID はアクセスポイント（ネットワーク）を探すときに表示される名前です。入力可能な文字は、1 ～ 32 文字の ASCII 文字です。

■ **チャンネル**

データを伝送する経路を選択します。

■ **認証方式**

接続モードを指定します。すでにオープンシステムが選択された状態になっています。

■ **暗号化方式**

暗号化方式の種類を選択します。選択肢は「なし」、「WEP」の 2 つです。

■ **WEP キー**

「暗号化方式」で「WEP」を選択した場合に入力可能になります。

「暗号化方式」で「WEP」を選択した場合に入力可能になります。ASCII 文字で 5 文字、または 1 3 文字で入力が可能です。16 進数で入力する場合は、10 文字、または 26 文字で入力が可能です。

工場出荷時の初期値は、シリアル番号の下 5 桁の数字です。

お使いのコンピューターによって、「ネットワークキー」や「セキュリティキー」、「パスフレーズ」と表示される場合がありますので、ご注意ください。

■ **IP アドレスの設定**

接続モードを指定します。すでに STATIC が選択された状態になっています。

■ **IP アドレス**

IP アドレスを入力します。

初期値は、［**169.254.100.1**］が設定されています。

［**1-254**］の値を［**.**］で区切って 4 つ入力します。ネットワーク上では、ユニークな番号にする必要がありますので、コンピューター側と全く同じ番号には、しないでください。ネットワークに詳しくない方は、初期値のままご利用ください。

■ サブネットマスク

サブネットマスクの数値を入力します。

初期値は、［**255.255.0.0**］が設定されています。

［**0-255**］の値を［**.**］で区切って 4 つ入力します。サブネットマスクは、同じ番号同士でないと通信ができません。ここの値を変更したら、コンピューター側のサブネットマスクも変更し、同じ番号に合わせてください。

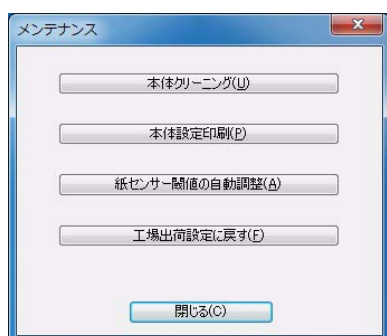
サブネットマスクは、ビット単位で上から 2 進数の［**1**］を繋げて番号を作るため、決まったパターンの数字になります。ネットワークに詳しくない方は、初期値のままご利用ください。

■ パワーオン時の通信設定

本体の電源を入れた時の通信モードを設定します。［**常に USB 接続モード**］、［**常に無線 LAN 接続モード**］、［**前回終了時の通信モードを維持する**］の 3 つから選べます。

初期値は、［**前回終了時の通信モードを維持する**］

5 メンテナンス

［**メンテナンス**］をクリックすると、［**メンテナンス**］ダイアログが表示されます。

■ 本体クリーニング

「プラテンローラーのクリーニング」（63 ページ）をご覧ください。

■ 本体設定印刷

下図のようなプリンターのファームウェアのバージョン、画質、設定情報などのレポートを印刷するには、［**本体設定印刷**］をクリックします。無線の設定情報も、このページに印刷されます

Current Settings

PROGRAM VERSION	: PJ-Main V0.09
BOOT VERSION	: PJ-Boot V0.01
FONT1 VERSION	: PJ-Font-E V2.00
FONT2 VERSION	: PJ-Font-P V2.00
EEPROM VERSION	: V1.000
AUTO POWER ON	: Disabled
PAGE LENGTH	: 66
1" PERF SKIP	: Disabled
BOTTOM MARGIN LINES	: 2
PAGE SIZE	: Letter
LINE FEED PITCH	: 1/6
FONT	: Mincho
PITCH SELECT	: 12cpi
CONDENSED MODE PRINT	: Disabled
FONT ATTRIBUTE	: Disabled
CHARACTER TABLE	: Extended Graphics
INTERNATIONAL CHAR SET	: USA
AUTO LINE FEED	: Disabled
DENSITY LEVEL	: 6
PAPER EJECT MODE	: Fixed Page Mode
BATTERY REFRESH INTERVAL	: Never Discharges Before Charging
SERIAL No.	: E2Z529914
DASH LINE BETWEEN PAGES	: Disabled
PRE-FEED ON POWER UP	: Disabled
AUTO POWER OFF(AC/DC/LI-ION)	: Disabled
AUTO POWER OFF(NI-MH)	: 10 Minutes
MAC ADDRESS	: 00:1D:12:CF:38:7B
COMMUNICATION TYPE	: Adhoc
OPERATING CHANNEL	: 11
SSID	: PJ-673_9914
ENCRYPTION MODE	: WEP64
AUTHENTICATION TYPE	: Open System
BOOT METHOD	: STATIC
RSSI	: -100dBM
IP ADDRESS	: 169.254.100.1
SUBNET MASK	: 255.255.0.0
GATEWAY ADDRESS	: 0.0.0.0
DNS ADDRESS	: 0.0.0.0
WLAN ON POWER ON	: Keep Current State
PAGE COUNTER	: 349
ROM FREE	: 5898240 byte

10cpi ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
12cpi ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
15cpi ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
Prop ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789

END_OF_PAGE

このレポートは、フィードボタン (↑□) を使用して印刷することもできます。詳しくは、「本体設定の印刷」（69 ページ）をご覧ください。

■ 紙センサー閾値の自動調整

［**紙センサー閾値の自動調整**］をクリックして、画面の指示に従ってください。用紙検出センサーの補正が自動的に行われます。

■ 工場出荷設定に戻す

［**工場出荷設定に戻す**］をクリックすると、PJ-673 ユーティリティが初期設定になり、プリンターに送信されます。無線 LAN 設定も初期状態に戻ります。

6 終了

［**終了**］をクリックすると、PJ-673 ユーティリティを終了します。

7 設定を送信する

［**設定を送信する**］をクリックすると、コンピューターの構成ファイルに、PJ-673 ユーティリティでチェックを入れている設定を保存して、プリンターに送信します。次回、プリンターの電源を入れたときには、この設定が保存されています。

お手入れ

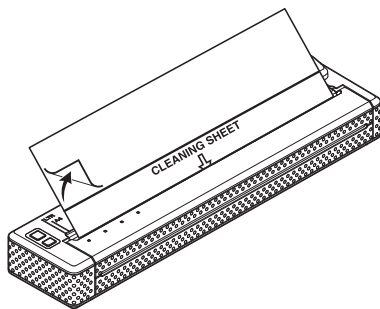
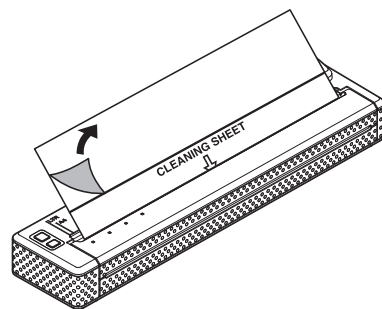
プラテンローラーのクリーニング

プラテンローラーが汚れると、用紙送りがうまくされなかったり、印刷画質を低下させることがあります。

1. 用紙をセットしないで、本機の電源を入れます。

メモ

プラテンローラーのお手入れをするときに、用紙がセットされている場合は、用紙送りが実行され、用紙は排出されます。

2. クリーニングシートを本機に挿入します。イラストに示しているように、本機を正面から見て、「CLEANING SHEET」の面を上にします。ローラーがクリーニングシートを引き込みます。

3. イラストに示しているように、クリーニングシートの上半分の裏紙をはがしてください。

メモ

クリーニングシートの下半分の裏紙は、はがさないでください。

4. フィードボタン(↑🗋)を2秒以上押してください。本機がクリーニングシートを送り、排出します。

メモ

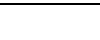
- クリーニングシート以外のものでプラテンローラーのお手入れをしないでください。
- クリーニングシートは、プラテンローラーのお手入れだけにご使用ください。プラテンローラーのお手入れ以外では、使用しないでください。
- クリーニングシートの交換については、弊社または販売店へお問い合わせください。

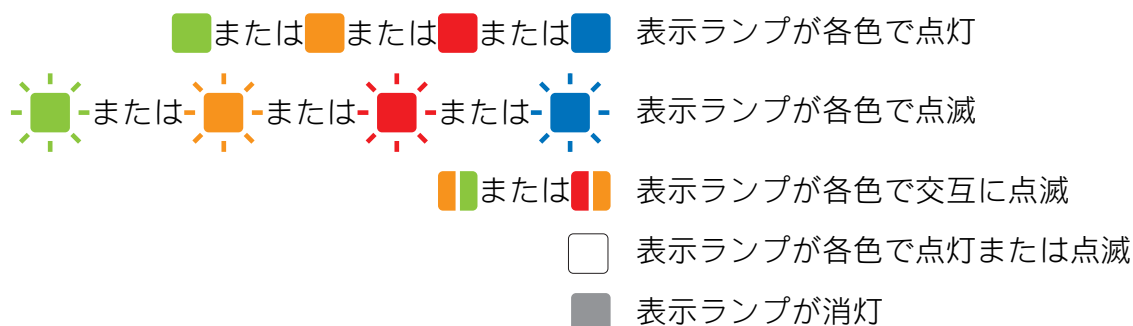
本体のクリーニング

本機の外側の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

メモ

- 本機をぬれた布で拭いたり、水に入れないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーあるいは、研磨剤、アルカリ性や酸性の薬品は使用しないでください。本機が変形したり、変色したりする恐れがあります。

5 付録

表示ランプ

表示ランプは点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。下記に示すイラストは、この章で使用する表示ランプの色とパターンの意味を示しています。

エラーの原因と対処法については、「表示ランプ警告」（67 ページ）または「困ったときは」（70 ページ）をご覧ください。

無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) の状態は無線 LAN 接続モードか USB 接続モードで変わります。プリンターの状態は、電源表示ランプ (POWER)、データ表示ランプ (DATA)、ステータス表示ランプ (STATUS) の 3 つで状態を表します。

接続モードの違いについては、後述の「無線 LAN 表示ランプ」（66 ページ）をご覧ください。

POWER	DATA	STATUS	WIRELESS LAN	内容
				AC アダプター、カーアダプター、Li-ion 充電池使用中
				Ni-MH 充電池使用中
/				充電池使用中（容量フル）
/		(4 秒に 1 回)		充電池使用中（容量ハーフ）
/		(4 秒に 2 回)		充電池使用中（容量ロウ）
/		（1 秒ごと）		充電池使用中（要充電）
				Ni-MH 充電池放電中
				Ni-MH 充電池充電中

5

POWER	DATA	STATUS	WIRELESS LAN	内容
/				印刷中またはデータ受信中
/				バッファーに受信済みデータ有り
/				転送中
/				書き込み中
/				メンテナンスモード（本体設定印刷）
				システムエラー（ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。）
				放充電開始時エラー（Ni-MH 充電池）
				放充電タイムアウトエラー（Ni-MH 充電池）
/				印字ヘッドまたはモータークールダウン中
				データ受信エラー
/				バッファーフルエラーまたはイメージ展開エラー
				ブートモード中

■ 無線 LAN 表示ランプ

POWER	DATA	STATUS	WIRELESS LAN	内容
/			(3 秒に 1 回)	無線 LAN オン：未接続
/				無線 LAN オン：接続確立
/				USB 接続モード

表示ランプ警告

内容	原因または解決方法
電源表示ランプ (POWER) が点灯しない	電源が供給されていません。 外付け電源をお使いの場合は、AC アダプターやカーアダプターが確実に接続されていること、電源コンセントから電気の供給がされていることを確認してください。詳しくは、「電源の接続」（1 ページ）をご覧ください。 充電池をお使いの場合は、充電池が確実に本機にセットされていること、充電池が充電されていることを確認してください。 DC 電源をお使いの場合は、ヒューズを確認してください。
Ni-MH 充電池未装着で充電開始	Ni-MH 充電池を充電しようとしても、本機が充電池を認識できません。 充電池やコネクタが壊れていないか、Ni-MH 充電池が正しく装着されているかを確認してください。詳しくは、「Ni-MH 充電池を装着する」（3 ページ）をご覧ください。 Ni-MH 充電池が正しく装着されている場合は、充電中に充電池が過熱したことが考えられます。Ni-MH 充電池を通常の温度に戻してから再度、おためしください。それでも、同様の症状が何度も現れる場合は、Ni-MH 充電池をお取り替えください。
Ni-MH 充電池充電タイムアウト	Ni-MH 充電池を充電するのに、時間がかかりすぎました（通常、満充電に必要な時間は 120 分です）。 Ni-MH 充電池をお取り替えください。
バッファーに受信済みデータあり	バッファー上に印刷データが溜まっています。ただし、最後までデータを受け切らないと印刷は開始しませんので、間違って通信中に無線 LAN 接続が途切れると、データが溜まったまま、印刷できない状態が続きます。一度本機の電源を落とし、電源を入れ直してください。

内容	原因または解決方法
印字ヘッドまたはモータークールダウン中	サーマル印字ヘッドまたはモーターが高温になりました。 印字ヘッド： サーマル印字ヘッドがさらに高温になると、用紙に余分な印刷がされる場合があります。印字が多く、印字濃度が濃い文書を多量に印刷すると、この現象が起こる場合があります。 本機は印刷を停止し、印字ヘッドを冷やします。そのあと、印刷を再開します。 この現象を回避するためには、印字濃度を薄く設定し、印字する量を減らしてください（文書から背景の陰影やグラフの色などを省きます）。また、本機は、密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。 モーター： 連続使用すると、モーターが高温になります。この場合、本機は印刷を停止し、モーターを冷やします。そのあと、印刷を再開します。 **メモ** 高所（3,048 m / 10,000 feet 以上）など空気濃度の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気が薄いため、このような現象が起きやすくなります。
データ受信エラー	通信が不安定な場合、データが正しく受信できないことがあります。通信条件を改善し、もう一度接続してください。
ブートモード中	この状態になったら、修理が必要です。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

メモ

上記に記載のないエラー内容については、次章「困ったときは」（70 ページ）をご覧ください。

本体設定の印刷

コンピューターに接続しなくても、本機の設定レポートをレターサイズに印刷します（A4 サイズの用紙で収まります）。印刷内容には、本機のファームウェアのバージョン、画質、設定情報を含みます。無線の設定情報も、このページに印刷されます。

1. 用紙をセットしないで、本機の電源を入れます。
2. データ表示ランプ(DATA) が赤色に点灯するまで、フィードボタン (↑🗋) を 2 秒以上押します。
3. 弊社純正の感熱紙を本機に挿入します。自動的に本体設定の印刷が開始され、終了すると電源を入れた直後の状態に戻ります。

メモ

この操作は、PJ-673 ユーティリティでも行えます。詳しくは、「本体設定印刷」（62 ページ）をご覧ください。

6 困ったときは

概要

本機に問題が起きた場合は、初めに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

- 本機に充電池を装着、もしくは本機を電源コンセントに接続していますか。詳しくは、「電源の接続」（1 ページ）をご覧ください。
- 本機の設定情報を印刷して、印刷機能に異常がないことを確認してください。詳しくは、「本体設定の印刷」（69 ページ）をご覧ください。
- 本機とコンピューターとの接続は有効になっていますか。改めて接続し直してみてください。詳しくは、「本機と iOS デバイスを接続する」（11 ページ）、もしくは「本機と Windows® PC を接続する」（16 ページ）をご覧ください。

上記のことを確認しても、問題が解決しない場合は、この章をご覧ください。

用紙の問題

問題	解決方法
用紙がつまった	「紙がつまったときは」（48 ページ）をご覧ください。
用紙は送られるが、何も印刷されない	印刷できるのは、感熱紙の感熱面のみです。用紙が感熱紙であることを確認してください。次に、本機正面から見て印刷できる面を下向きにしてセットしてください。詳しくは、「印刷する」（43 ページ）をご覧ください。 印刷濃度が適切か確認してください。詳しくは、「プリンタードライバーの設定」（44 ページ）をご覧ください。
モーターは動いているのに、用紙が送られない	排紙カバーが正しく閉まっているか確認してください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。厚い用紙を使用すると、送られない場合があります。 それでも問題が解決されない場合は、本機の故障が考えられます。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

印刷の問題

問題	解決方法
印刷画像がゆがんでいる	弊社純正の感熱紙をご使用になり、正しく用紙送りされるか確認してください。詳しくは、「印刷する」（43 ページ）をご覧ください。 プラテンローラーが汚れていないか確認し、汚れていたらクリーニングしてください。詳しくは、「プラテンローラーのクリーニング」（63 ページ）をご覧ください。
印字が薄すぎる、もしくは、濃すぎる	プリンタードライバーで印刷濃度を調整してください。詳しくは、「印刷濃度の設定について」（44 ページ）をご覧ください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。
印刷画像が縮んだり伸びたりする	排紙カバーが開いていないか確認し、正しく閉めてください。 用紙が本機内で滑っていないか確認し、滑っていたらプラテンローラーをクリーニングしてください。詳しくは、「プラテンローラーのクリーニング」（63 ページ）をご覧ください。 弊社純正の感熱紙をご使用ください。しわのある用紙は使用しないでください。
上余白が正しくない	PJ-673 ユーティリティとアプリケーションで余白を正しく設定してください。必要に応じて、上余白と下余白を調整してください。 用紙を挿入するときは、強く押し込まず、静かに挿入してください。

問題	解決方法
左右の余白が均等でない	PJ-673 ユーティリティとアプリケーションで余白を正しく設定してください。必要に応じて、左を調整してください。 本機にセットした用紙に適切な用紙サイズをアプリケーション、本機、プリンタードライバーで設定したことを確認してください。 アプリケーションまたはプリンタードライバーで、異なった用紙の幅を設定した場合は、用紙の中央に印刷されません。必要に応じて調整してください。
正しい文字で印刷されない	アプリケーションで適切な文字セット（フォント）を設定しているか確認してください。必要に応じて、文字セットを変更してください。 文書で使用しているフォントを変更してみてください。
USB 接続時に本機を認識しない。 無線 LAN 接続時に本機を認識しない	■ USB 接続で認識をしない場合： 無線 LAN 接続モードになっている可能性があります。電源が入っている状態で、本機の電源ボタン (⏻) を 3 秒以上押し、無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が消灯したことを確認して電源ボタン (⏻) を離してください。 ■ 無線 LAN 接続で認識をしない場合： USB 接続モードになっている可能性があります。電源が入っている状態で、本機の電源ボタン (⏻) をを 3 秒以上押し、無線 LAN 表示ランプ (WIRELESS LAN) が点滅したことを確認して電源ボタン (⏻) を離してください。 無線 LAN の設定を確認してください。設定情報は、本体設定の印刷で確認してください。ネットワーク管理者に問い合わせて、PJ-673 ユーティリティをご使用ください。 ユーティリティの詳細は（50 ページ）をご覧ください。

<table>
<tr><th>問題</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>無線 LAN 接続でも USB 接続でも印刷したい</td><td>プリンターの設定を、無線 LAN 接続の場合と USB 接続の場合の両方行ってください。どちらか片方だけだと、切換えはできません。
■ USBでのインストールで無線LANのドライバーをインストールしていない場合：
a. 初期設定のまま使用する場合
「プリンターの追加」の項を参照してください。(21 ページ)
b. 初期設定を変更して使用する場合
「プリンターの設定」の項を参照してください。(29 ページ)
a.、b. をおこなっても印刷できない場合
ネットワークの接続先を確認してください。
「Windows PC の設定」の項を参照してください。(17 ページ)
また、「プリンタの接続モード」を確認してください。(38 ページ)
■ 使用したいインターフェイスのドライバーを選び直していない場合：
使用したい方のインターフェイスのドライバーを選び直す必要があります。
プリンターをインストールすると、Brother PJ-673 と Brother PJ-673 USB ができます。
それでも印刷できない場合、「プリンタの接続モード」を確認してください。(38 ページ)
■ プリンター本体のインターフェイス切り替えができていない場合：
「プリンタの接続モード」を確認してください。(38 ページ)</td></tr>
<tr><td>無線の接続に時間がかかる</td><td>無線 LAN の接続は、初期化から接続完了までに時間が掛かり、1 分以上かかる場合もございます。
これは、端末や環境によって異なりますので、端末メーカーにご確認ください。
プリンターの無線 LAN 準備時間については、「無線 LAN 接続モードと USB 接続モードの切換え」(38 ページ) をご覧ください。</td></tr>
</table>

印字ができない

問題	解決方法
データ表示ランプ (DATA) が緑色に点灯しているのに、印刷されない	本機は受信したすべてのデータの印刷を完了していません。 用紙がセットされていない場合は、新しい用紙をセットしてください。用紙をセットしているのに印刷されない場合は、用紙を取り出してもう一度、セットしてください。印刷が開始されます。 印刷が開始されない場合は、本機の電源を切り、もう一度、電源を入れて文書を印刷してください。 無線 LAN で接続していた場合、一旦電源を切ると接続が切れます。再度電源を入れると、無線 LAN 機能が有効になるまでに、最大 15 秒ほどの時間がかかりますので、ご注意ください。 本機にシンプルなアスキーテキストデータを送信するとき、問題が起こる可能性があります。行の最後に CR/LF コマンドが入っていなかったり、最終行に用紙送りのコマンドが入っていない場合は、本機はデータの送信を待っている可能性があります。他のページを印刷するか、フィードボタン (↑🗋) を押して、用紙を送ってください。
データを送信しているのに、本機のデータ表示ランプ (DATA) が緑色に点灯しない	USB 接続モードの場合、USB ケーブルが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。他の USB ケーブルを使用してみてください。無線 LAN 接続モードになっている場合は、USB 接続モードに切り替えてください。 無線 LAN 接続の場合は、設定が正しくされているかご確認ください。USB 接続モードになっている場合は、無線接続に切り替えてください。

部分的に印刷される

問題	解決方法
データが本機に残っているのに、データ表示ランプ (DATA) が消灯する	コンピューターからすべてのデータが送信できなかったことが考えられます。もう一度、文書を送信して印刷してください。 正しくない用紙サイズのデータを送信したか、または、正しくない用紙サイズが本機にセットされていないか確認してください。アプリケーションとプリンタードライバーの用紙設定を適切なのもにしてください。アプリケーションで設定した用紙サイズにあった適切な用紙を本機にセットしてください。 プリンタードライバーの［**用紙排出モード**］が［フィードなし］に設定されていないことを確認してください。 フィードボタン (↑🗋) を押して、用紙を送ってください。
部分的に印刷され、データ表示ランプ (DATA) が点灯または点滅している	アプリケーションの用紙サイズ設定が正しいかどうか確認してください。

7 仕様

製品仕様

モデル名	**PJ-673**
外形寸法	255 （幅）x 55 （奥行き）x 40 （高さ）mm
質量	約 480g （充電池、用紙は含まず）
印刷	
印刷方式	感熱方式
印刷速度	平均：9.4 秒 / 枚（ただし、標準環境下の場合 *1）
印刷解像度	300 x 300 dpi
印刷可能領域	プリンタードライバーで設定した場合（最小 94.7 x 22.8 mm ～ 最大 208.5 x 2531.6 mm）
用紙サイズ	レター （216 x 279 mm）、リーガル （216 x356 mm）、A4 （210 x 297 mm）
電源	
充電池	Ni-MH 充電池：14.4 V Li-ion 充電池：11.1 V
アダプター	AC アダプター：15V
車両アダプター	シガレットカーアダプター：12V（DC)
充電池印刷可能枚数 *1	Ni-MH 充電池：約 70 枚 Li-ion 充電池：約 300 枚
インターフェイス	
USB	USB Ver.2.0 Full Speed 準拠（ミニ B タイプ、ペリフェラル）
無線 LAN	無線 LAN IEEE802.11b/g/n （アドホックモード *2）
対応 OS *3	
プリンタードライバー	Windows® 7 / Windows Vista® / Windows® XP （USB、無線 LAN）

*1 示している数値は、環境によって異なります。「標準環境」とは次の通り：
A4 サイズ用紙に JEITA J1 パターンを連続印刷。USB インターフェイスと AC アダプターを使用。印刷濃度は 6 。温度環境は、25 ℃。（無線 LAN 接続の場合は Ni-MH 充電池：60 枚、Li-ion 充電池：250 枚になります。）

*2 本機は、アドホック方式での接続を推奨しています。インフラストラクチャモードでの接続には、種々の制限事項がありますので、接続にはネットワークについての高度な知識が必要となります。また、お客様の環境によっては本機に接続できない場合もあります。ネットワークについて高度な知識のある開発者の方は、下記の開発者向け情報サイトから、技術者向け設定情報を入手し、設定ください。
(http://www.brother.co.jp/dev/mwprintersdk/index.htm)

*3 iOS 4.3 以降（無線 LAN）で、アプリケーションを作成することにより、印刷機能を 追加することが可能となります。開発者ツールサイトで iOS 4.3 以降（無線 LAN）に対応した SDK をご案内しています。

モデル名	**PJ-673**
ソフトウェア	
内蔵フォントサイズ	欧文書体 : 10cpi、12cpi、15cpi 日文書体 : 9.6 ポイント（40x40 ドット）
内蔵フォント種類	欧文書体 : Roman 体 日文書体 : 明朝体、ゴシック体
使用環境	
温度	0 - 40 °C
湿度	30 - 80 %（結露がないこと）
保管環境	
温度	-15 - 50 °C
湿度	30 - 85 %（結露がないこと）

A 文字セット

より詳細な情報は、弊社ソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/) からコマンドリファレンスをダウンロードしてください。

カタカナコード一覧

MSB>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
LSB 0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			“	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	─	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			‘	7	G	W	g	w	█	│	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C			,	<	L	\	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D			-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	”	╱	▒
F			/	?	O	_	o		+	╯	ッ	ソ	マ	°	╲	

拡張グラフィックスコード一覧

MSB>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
LSB 0			SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2			“	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5			%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			‘	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	●
A			*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	•
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C			,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	^{n}
D			-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	ø	^{2}
E			.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	Є	▪
F			/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

イタリック文字コード一覧

MSB>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
LSB 0			SP	0	@	P	`	p			SP	0	@	P	`	p
1			!	1	A	Q	a	q			!	1	A	Q	a	q
2			“	2	B	R	b	r			“	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s			#	3	C	S	c	s
4			$	4	D	T	d	t			$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v			&	6	F	V	f	v
7			‘	7	G	W	g	w			‘	7	G	W	g	w
8			(	8	H	X	h	x			(	8	H	X	h	x
9			)	9	I	Y	i	y			)	9	I	Y	i	y
A			*	:	J	Z	j	z			*	:	J	Z	j	z
B			+	;	K	[	k	{			+	;	K	[	k	{
C			,	<	L	\	l	¦			,	<	L	\	l	¦
D			-	=	M	]	m	}			-	=	M	]	m	}
E			.	>	N	^	n	~			.	>	N	^	n	~
F			/	?	O	_	o				/	?	O	_	o	Ø

A

国際文字一覧

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
USA	#	$	@	[	\	]	^	‛	{	¦	}	~
France	#	$	à	°	Ç	§	^	‛	é	ù	é	¨
Germany	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	‛	ä	ö	ü	ß
United Kingdom	£	$	@	[	\	]	^	‛	{	¦	}	~
Denmark I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	‛	æ		å	~
Sweden	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
Italy	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
Spain I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	‛	¨	ñ	}	~
Japan	#	$	@	[	¥	]	^	‛	{	¦	}	~
Norway	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ		å	ü
Denmark II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ		å	ü
Spain II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	‛	í	ñ	ó	ú
Latin America	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú
Korea	#	$	@	[		]	^	‛	{	¦	}	~
Legal	#	$	§	°				‛				